

## 第 3 章 事業所



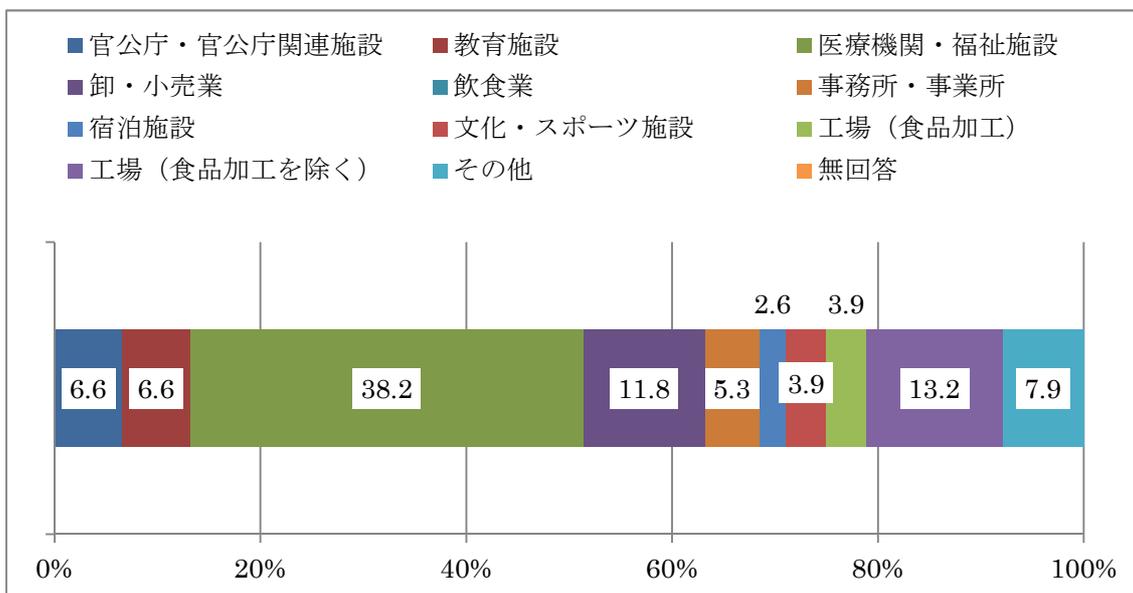
# 1 属性項目

## 質問1 業種

回答された事業所の業種は、「医療機関・福祉施設」が 38.2%で最も多く、次いで、「工場（食品加工を除く）」（13.2%）、「卸・小売業」（11.8%）、「その他」（7.9%）となっています。「その他」には、マンション、寮、複合ビルなどが含まれています。

なお、分類上で「飲食業」と「無回答」がありますが、今回調査では両者とも該当はありません。

●業種(計 76)



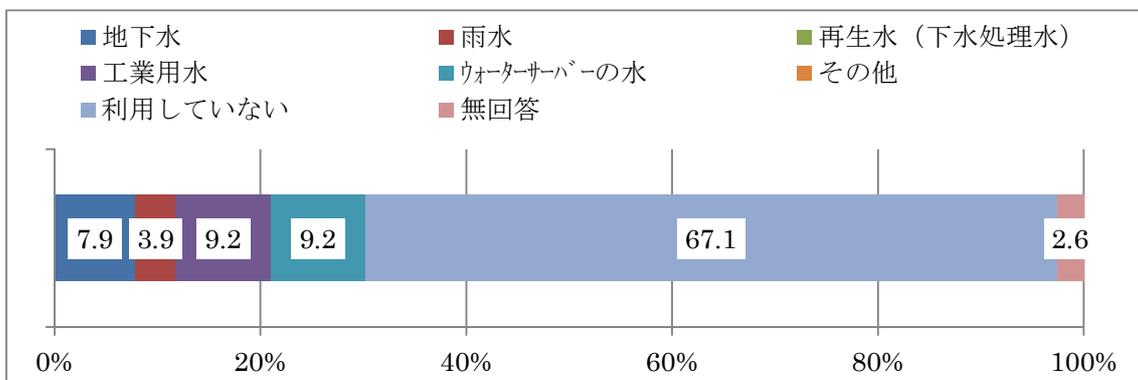
## 2 利用している水について

### 質問2 水道水以外で主に利用している水

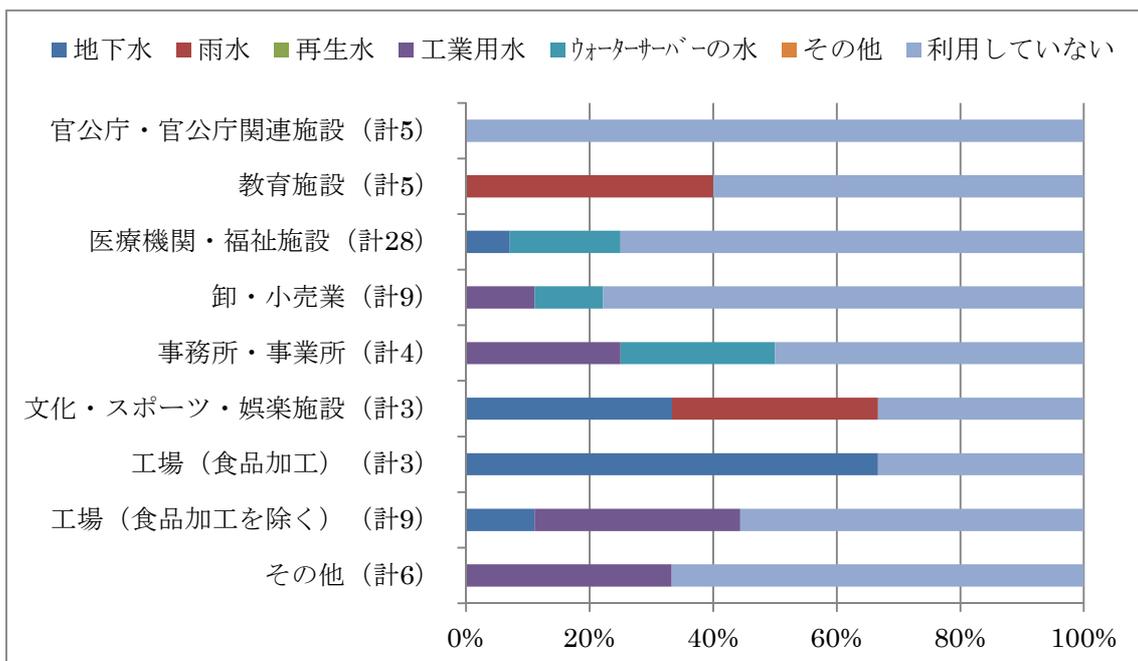
水道水以外で主に利用している水を「利用していない」(67.1%)という事業所が7割弱を占めています。利用しているものでは、「工業用水」と「ウォーターサーバーの水」が9.2%で多く、次いで、「地下水」(7.9%)、「雨水」(3.9%)があります。

また、「地下水」は文化・スポーツ・娯楽施設、工場(食品加工)、「雨水」は教育施設、文化・スポーツ・娯楽施設、「工業用水」は事務所事業所、工場(食品加工を除く)、その他、「ウォーターサーバーの水」は事務所・事業所、医療機関・福祉施設にて多く利用されています。

●水道水以外で主に利用している水(計76)



●水道水以外で主に利用している水(業種別)



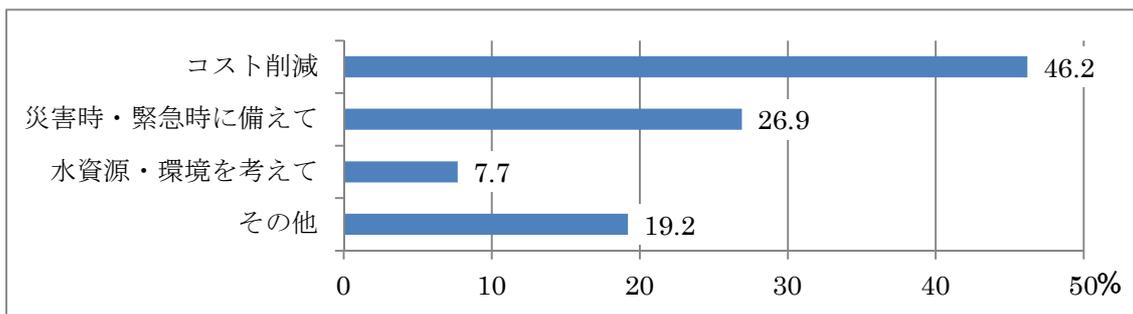
\*回答数が少ない「宿泊施設」は除いています。

## 質問 2-1 水道水以外の水を利用している理由

水道水以外の水を利用している理由は、「コスト削減」が 46.2%で最も多く、次いで、「災害時・緊急時に備えて」(26.9%)、「その他」(19.2%)、「水資源・環境を考えると」(7.7%)となっています。

理由ごとに利用している水を見ると、「コスト削減」に向けては工業用水と地下水、「災害時・緊急時に備えて」では様々な水(地下水・雨水・ウォーターサーバーの水)、「その他」ではウォーターサーバーの水となっています。「その他」は病院の来院者・患者のサービスが多くなっています。

●水道水以外の水を利用している理由 (計 26)



●水道水以外の水を利用している理由 (利用している水の種類別)

|                   | コスト削減 | 災害時・緊急時に備えて | 水資源・環境を考えると | その他 |
|-------------------|-------|-------------|-------------|-----|
| 地下水 (計 6)         | 4     | 3           | 1           | -   |
| 雨水 (計 3)          | 1     | 2           | 1           | -   |
| 再生水 (計 0)         | -     | -           | -           | -   |
| 工業用水 (計 7)        | 7     | -           | -           | -   |
| ウォーターサーバーの水 (計 7) | -     | 2           | -           | 5   |
| その他 (計 0)         | -     | -           | -           | -   |

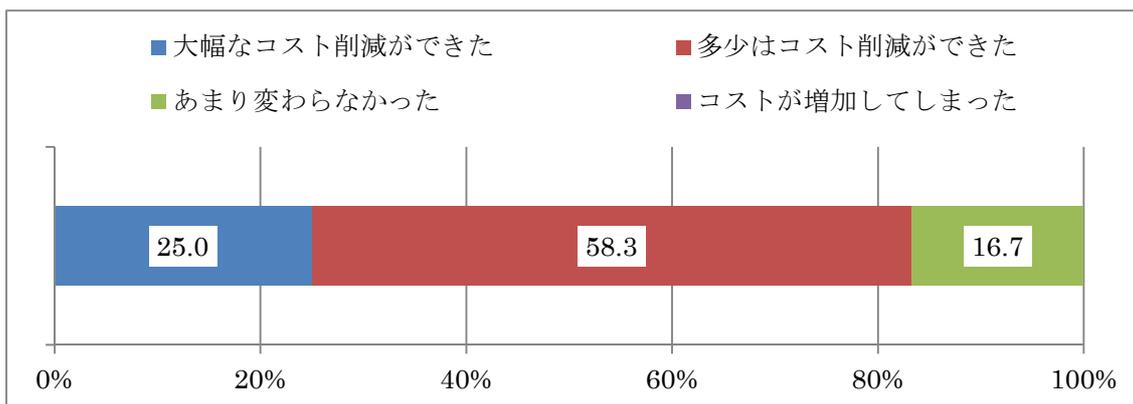
\* サンプル数が少ないため参考値とします

## 質問 2-2 コスト削減状況

コスト削減状況では、「多少はコスト削減ができた」が7事業所(58.3%)、「大幅なコスト削減ができた」が3事業所(25.0%)、「あまり変わらなかった」が2事業所(16.7%)で、「コストが増加してしまった」事業所はありませんでした。

理由ごとに利用している水をみると、地下水や工業用水を利用して「多少はコスト削減ができた」事業所が多い傾向がみられます。

●コスト削減状況(計 12)



●コスト削減状況(利用している水の種類別)

|                  | 大幅なコスト削減ができた | 多少はコスト削減ができた | あまり変わらなかった | コストが増加してしまった |
|------------------|--------------|--------------|------------|--------------|
| 地下水(計 4)         | 1            | 3            | -          | -            |
| 雨水(計 1)          | -            | -            | 1          | -            |
| 再生水(計 0)         | -            | -            | -          | -            |
| 工業用水(計 7)        | 2            | 4            | 1          | -            |
| ウォーターサーバーの水(計 0) | -            | -            | -          | -            |
| その他(計 0)         | -            | -            | -          | -            |

\* サンプル数が少ないため参考値とします

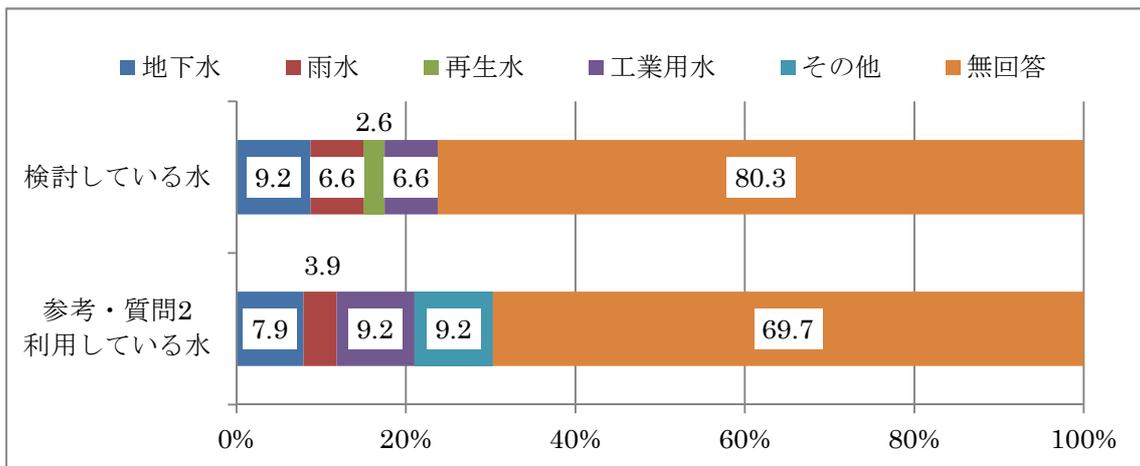
### 質問3 利用検討している水資源

利用検討している水資源は、「地下水」(7事業所、9.2%)、「雨水」と「工業用水」(各5事業所、6.6%)、「再生水」(2事業所、2.6%)があり、「その他」はありませんでした。

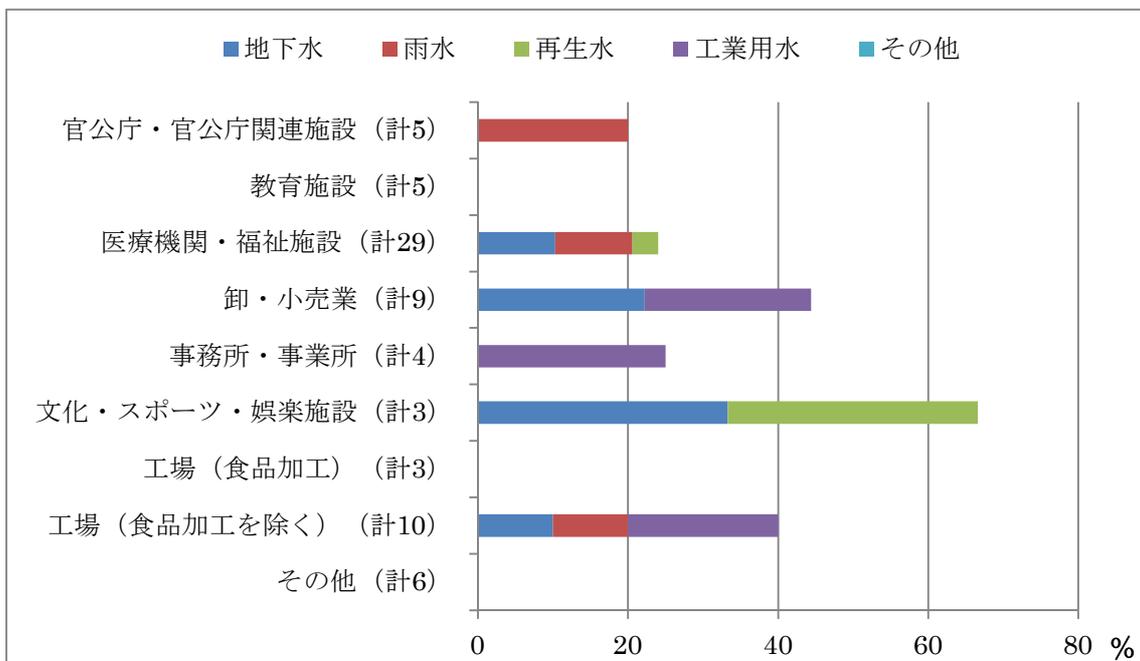
現在の利用状況(「質問2 水道水以外で主に利用している水」と比べると、「地下水」と「雨水」と「再生水」が少し増え、「工業用水」が少し減り、「その他」がなくなっています。

利用検討しているのは、「地下水」が医療機関・福祉施設と卸・小売業、「雨水」が医療機関・福祉施設、「工業用水」が卸・小売業と工場(食品加工を除く)で多くあげられています。

●利用検討している水資源(計76)



●利用検討している水資源(業種別)



\* サンプル数が少ないため参考値とします

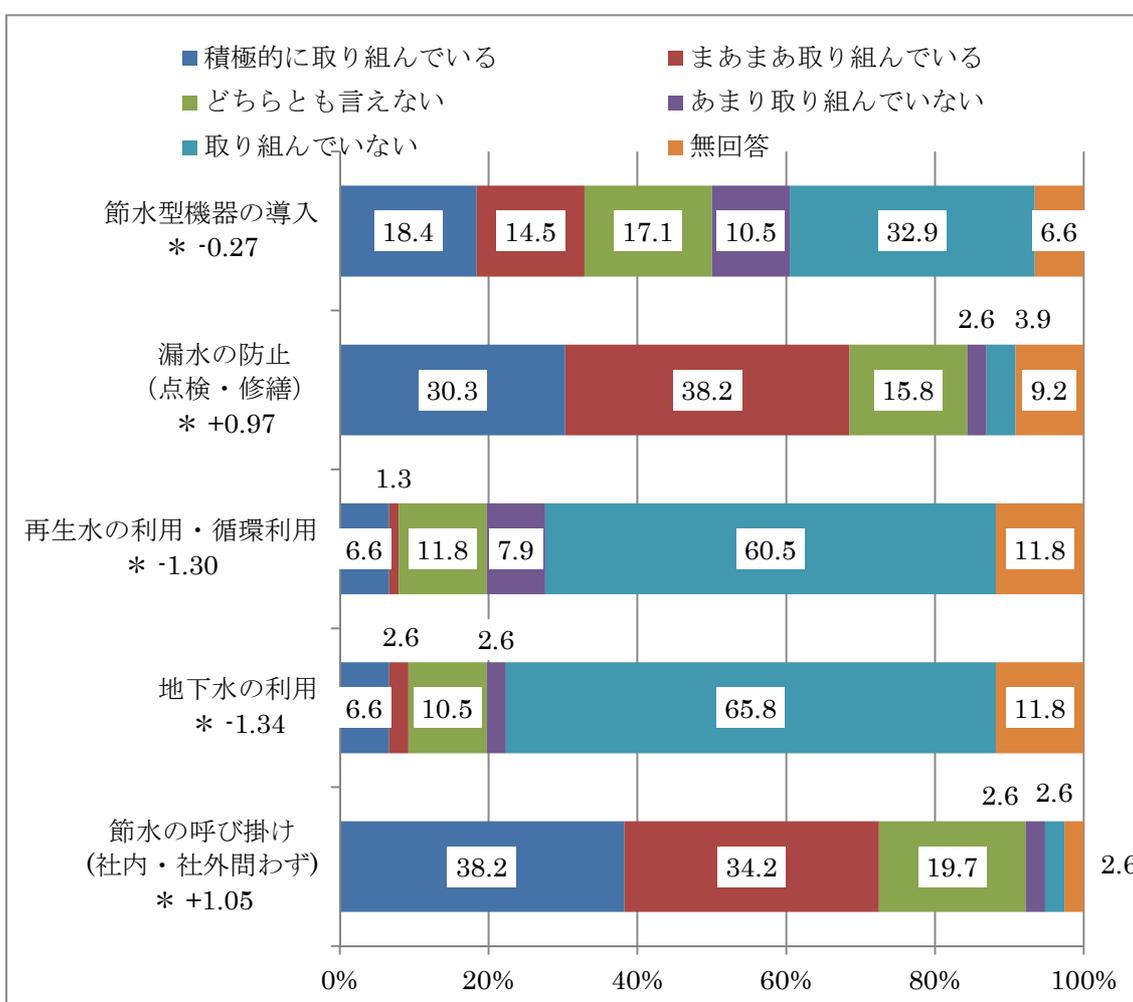
### 3 水道水について

#### 質問4 節水への取り組み

節水への取り組みについて、①「取り組んでいる」を含む回答（「積極的に取り組んでいる」+「まあまあ取り組んでいる」）と、②「取り組んでいない」を含む回答（「あまり取り組んでいない」+「取り組んでいない」）でまとめると以下のように大別できます。全体として、低コストの取り組みは積極的だが、高コストの取り組みは消極的という傾向がみられます。

- 「取り組んでいる」を含む回答が多い ⇒ 「漏水の防止」、「節水の呼び掛け」
- 「取り組んでいない」を含む回答が多い ⇒ 「再生水の利用・循環利用」、「地下水の利用」
- 両者が拮抗している ⇒ 「節水型機器の導入」

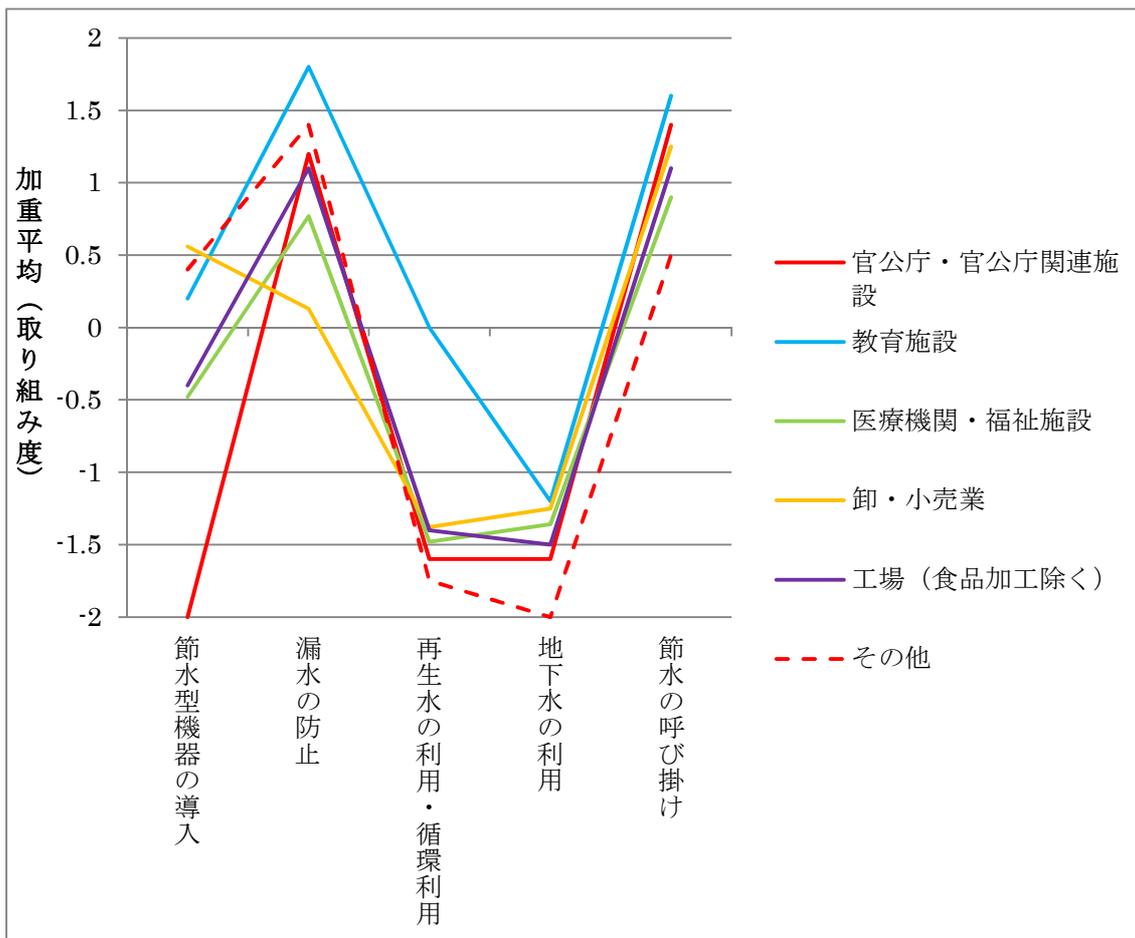
●節水への取り組み(計 76)



\*左側項目下の数字は<加重平均>で、全体傾向を示しています。ここでは「積極的に取り組んでいる」=2、「まあまあ取り組んでいる」=1、「どちらとも言えない」=0、「あまり取り組んでいない」=-1、「取り組んでいない」=-2として重みをかけた平均値で求めています。

どの業種も全体と類似した傾向にあります。また、「官公庁・官公庁関連施設」は節水型機器の導入、再生水の利用・循環利用、地下水の利用等に消極的、「教育施設」は全ての面で積極的、という特徴がみられます。また、「卸・小売業」は他業種と比べて漏水の防止の取り組みが少ない点も注目されます。

● 節水への取り組み(業種別、加重平均:取り組み度)



\* サンプル数が少ない「事務所・事業所」、「宿泊施設」、「文化・スポーツ・娯楽施設」、「工場（食品加工）」は除いています。

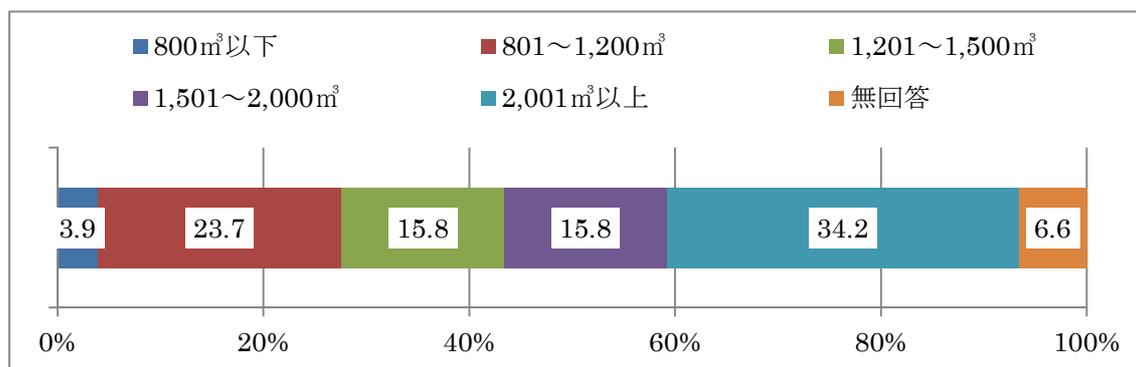
\* 加重平均(取り組み度)は、全事業所が「積極的に取り組んでいる」なら2、「取り組んでいない」なら-2、「どちらとも言えない」なら0となる指標です。

## 質問5 使用水量

使用水量は、「2,001 m<sup>3</sup>以上」の大口事業所が 34.2%で最も多く、次いで、「801～1,200 m<sup>3</sup>」(23.7%)があります。また、「800 m<sup>3</sup>以下」の小口事業所は 3.9%と少なくなっています。

業種別にみると、「2,001 m<sup>3</sup>以上」は、医療機関・福祉施設(12 事業所)、卸・小売業(4事業所)、その他(3事業所)、文化・スポーツ・娯楽施設と工場(食品加工を除く)(各2事業所)、事務所・事業所と宿泊施設と工場(食品加工)(各1事業所)があります。同業種でも事業所規模で使用量は様々ですが、官公庁・官公庁関連施設と教育施設は全て 1,500 m<sup>3</sup>以下で、使用量が比較的少ないと言えます。

●使用水量(計 76)



●使用水量(業種別)

|              | 合計 | 800 m <sup>3</sup> 以下 | 801～1,200 m <sup>3</sup> | 1,201～1,500 m <sup>3</sup> | 1,501～2,000 m <sup>3</sup> | 2,001 m <sup>3</sup> 以上 |
|--------------|----|-----------------------|--------------------------|----------------------------|----------------------------|-------------------------|
| 官公庁・官公庁関連施設  | 5  | 2                     | 1                        | 2                          | -                          | -                       |
| 教育施設         | 4  | -                     | 3                        | 1                          | -                          | -                       |
| 医療機関・福祉施設    | 28 | -                     | 8                        | 2                          | 6                          | 12                      |
| 卸・小売業        | 9  | -                     | 1                        | 1                          | 3                          | 4                       |
| 飲食業          | -  | -                     | -                        | -                          | -                          | -                       |
| 事務所・事業所      | 3  | -                     | 1                        | 1                          | -                          | 1                       |
| 宿泊施設         | 2  | 1                     | -                        | -                          | -                          | 1                       |
| 文化・スポーツ・娯楽施設 | 2  | -                     | -                        | -                          | -                          | 2                       |
| 工場(食品加工)     | 3  | -                     | -                        | 2                          | -                          | 1                       |
| 工場(食品加工を除く)  | 9  | -                     | 4                        | 1                          | 2                          | 2                       |
| その他          | 6  | -                     | -                        | 2                          | 1                          | 3                       |

\* サンプル数が少ないため参考値とします

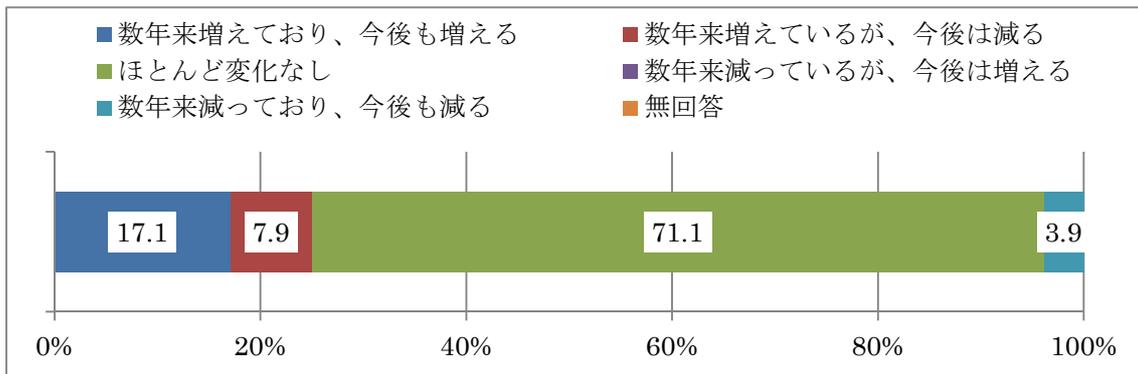
## 質問6 使用水量の状況

使用水量の状況は、「ほとんど変化なし」が71.1%と大半を占めています。次いで「数年来増えており、今後も増える」(17.1%)、「数年来増えているが、今後は減る」(7.9%)、「数年来減っており、今後も減る」(3.9%)が続いています。従って、今後、増える事業所は17.1%、減る事業所は11.8%となります。

業種別にみると、増える事業所、減る事業所とも医療機関・福祉施設で多くなっています。

使用水量との関係を見ると、「801～1,200 m<sup>3</sup>」、「1,201～1,500 m<sup>3</sup>」、「2,001 m<sup>3</sup>以上」は増える事業所のほうが多く、「1,501～2,000 m<sup>3</sup>」は減る事業所のほうが多くなっています。(次頁図)

●使用水量の状況(計76)

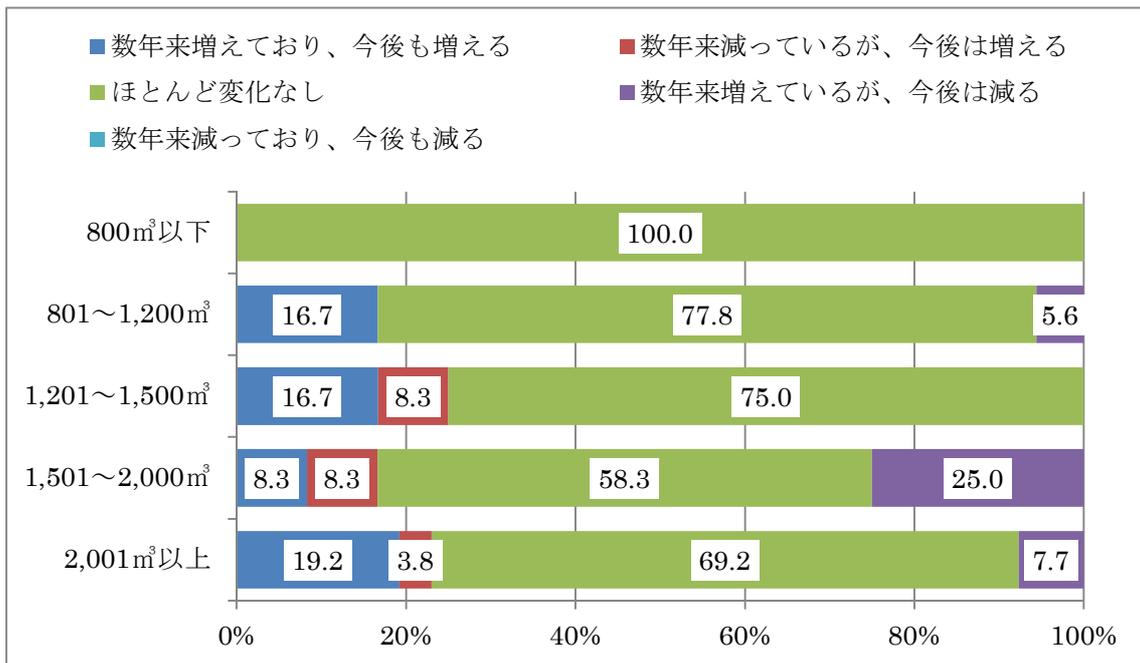


●使用水量の状況(業種別)

|              | 合計 | 数年来増えており、今後も増える | 数年来増えているが、今後は減る | ほとんど変化なし | 数年来減っているが、今後は増える | 数年来減っており、今後も減る |
|--------------|----|-----------------|-----------------|----------|------------------|----------------|
| 官公庁・官公庁関連施設  | 5  | -               | -               | 4        | -                | 1              |
| 教育施設         | 5  | -               | -               | 5        | -                | -              |
| 医療機関・福祉施設    | 29 | 7               | 5               | 17       | -                | -              |
| 卸・小売業        | 9  | 2               | -               | 7        | -                | -              |
| 飲食業          | -  | -               | -               | -        | -                | -              |
| 事務所・事業所      | 4  | 1               | -               | 3        | -                | -              |
| 宿泊施設         | 2  | -               | -               | 2        | -                | -              |
| 文化・スポーツ・娯楽施設 | 3  | 1               | -               | 2        | -                | -              |
| 工場(食品加工)     | 3  | -               | 1               | 2        | -                | -              |
| 工場(食品加工を除く)  | 10 | 2               | -               | 7        | -                | 1              |
| その他          | 6  | -               | -               | 5        | -                | 1              |

\* サンプル数が少ないため参考値とします

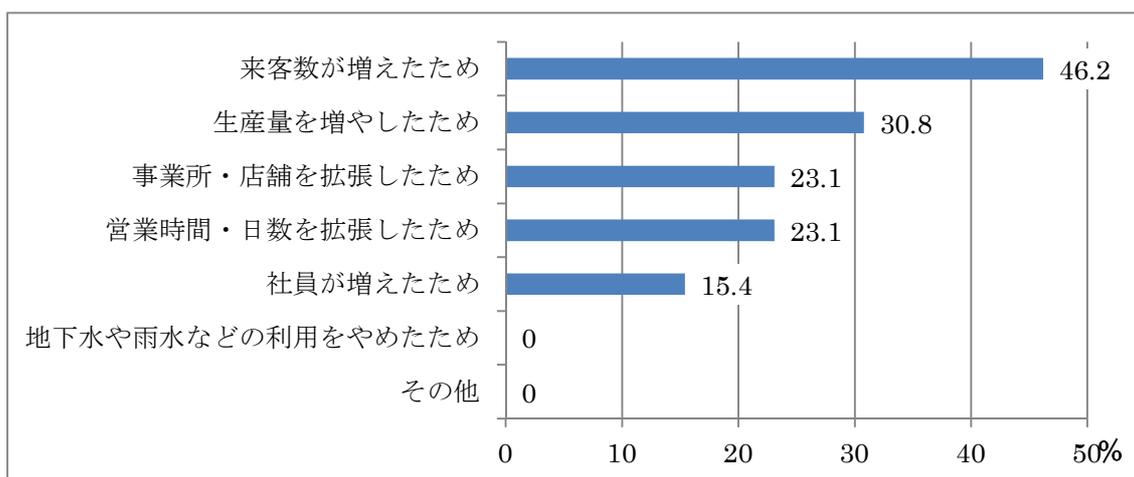
●使用水量の状況(使用水量別)



### 質問6-1 今後の使用水量の増加理由

今後の使用水量の増加理由は13回答で、「来客数が増えたため」(6回答、46.2%)が最も多く、次いで、「生産量を増やしたため」(4回答、30.8%)、「事業所・店舗を拡張したため」と「営業時間・日数を拡張したため」(3回答、23.1%)、「社員数が増えたため」(1回答、15.4%)があります。全て状況変化により水需要が増えるという受動的要因になっています。

●今後の使用水量の増加理由(計13)

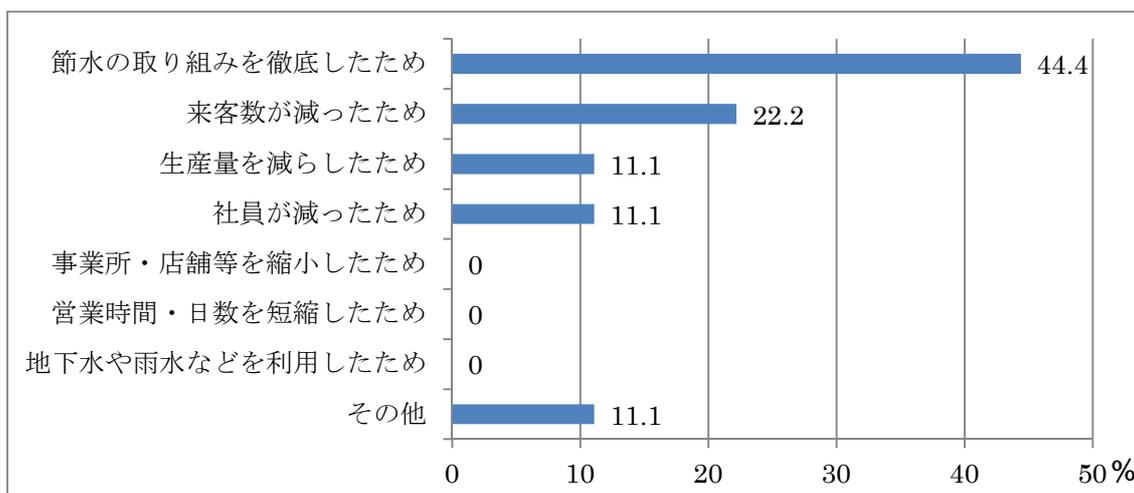


### 質問6-2 今後の使用水量の減少理由

今後の使用水量の減少理由は9回答で、「節水の取り組みを徹底したため」(4回答、44.4%)が最も多く、次いで、「来客数が減ったため」(2回答、22.2%)、「生産量を減らしたため」と「社員が減ったため」(1回答、11.1%)があります。

水需要を減らす(「節水の取り組みを徹底したため」という能動的要因が第1にあがっていることが注目されます。

●今後の使用水量の減少理由(計9)



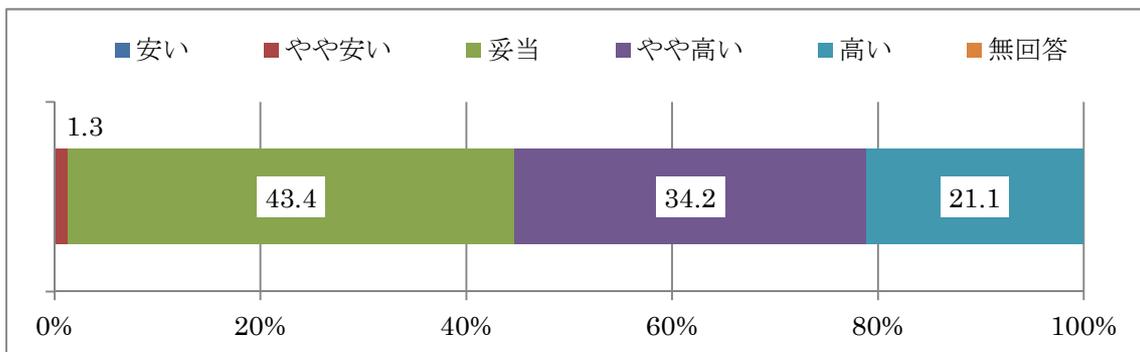
## 4 水道料金について

### 質問7 水道料金

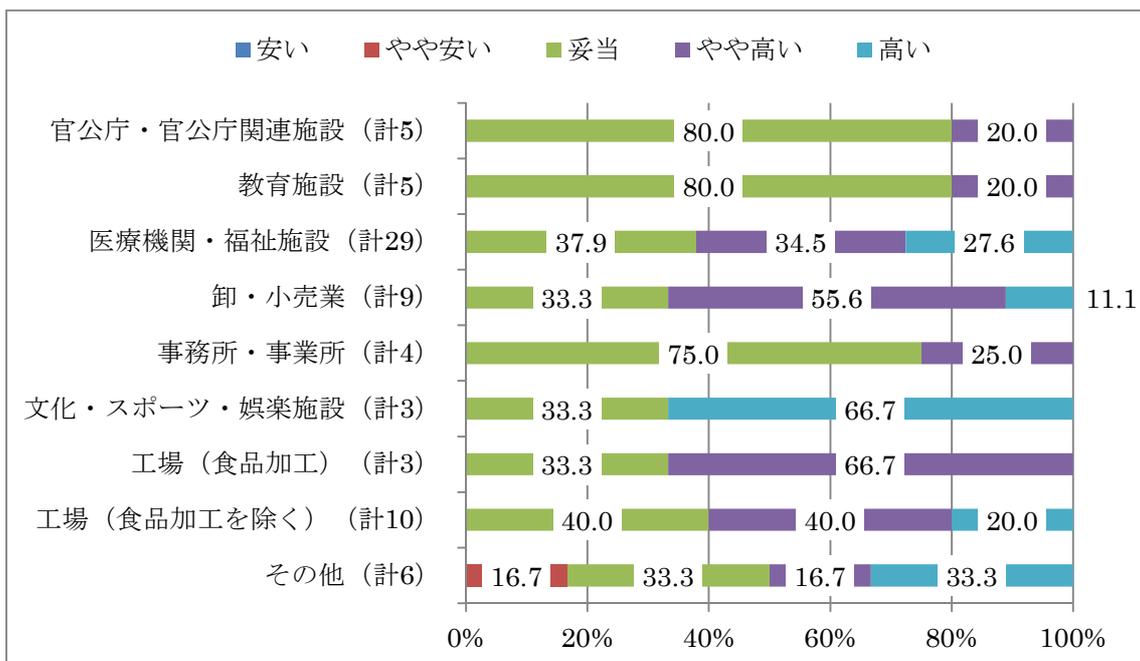
水道料金は、「妥当」が43.4%で最も多く、次いで、「やや高い」(34.2%)、「高い」(21.1%)、「やや安い」(1.3%)となっており、「安い」は回答がありませんでした。「安い」を含む回答(「安い」+「やや安い」)が1.3%と少ないのに対し、「高い」を含む回答(「やや高い」+「高い」)が55.3%と過半を占めています。

業種別では、医療機関・福祉施設、卸・小売業、宿泊施設、文化・スポーツ・娯楽施設、工場(食品加工)、工場(食品加工を除く)、その他、で「高い」を含む回答が半数以上を占めています。

●水道料金(計76)



●水道料金(業種別)

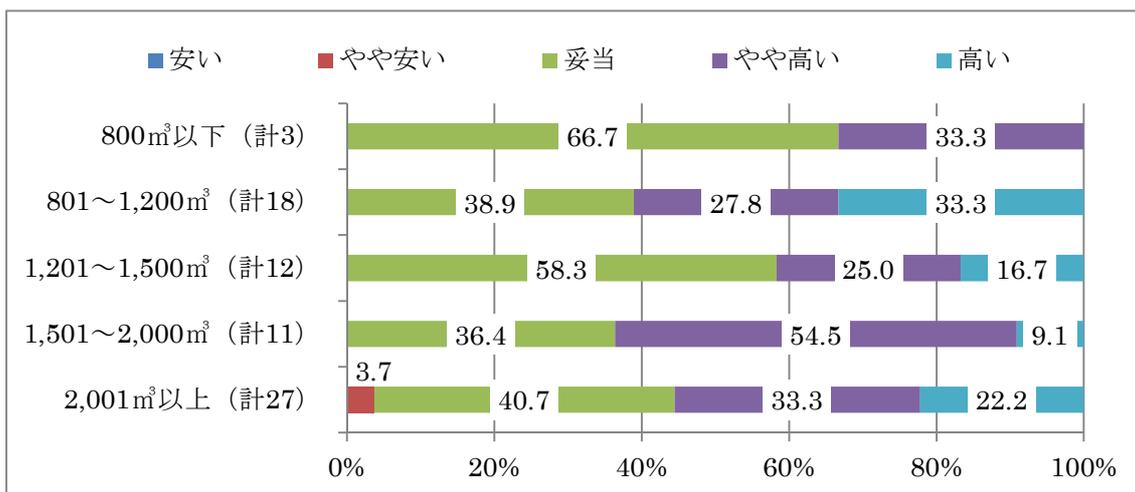


\*回答数が少ない「宿泊施設」は除いています。

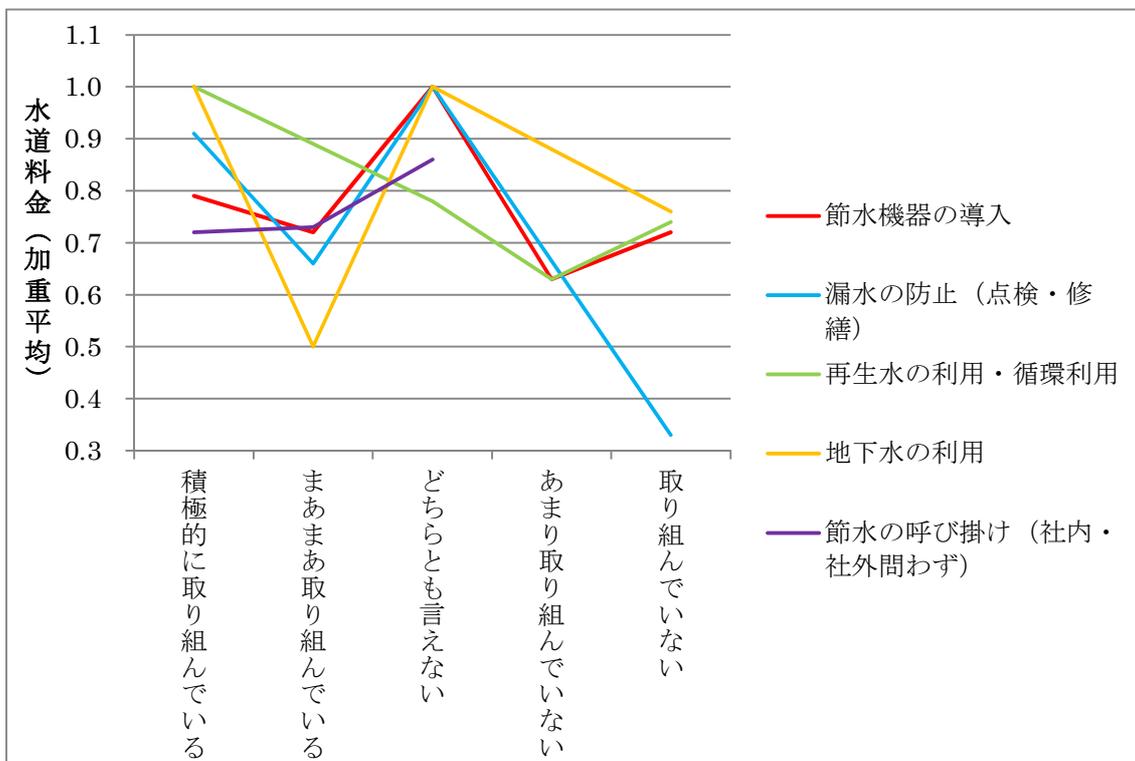
使用水量別にみると、801～1,200 m<sup>3</sup>で「高い」が多くなっており、使用水量と水道料金評価の明確な関係はみられません。節水への取り組み別でも、全体が加重平均0.8前後（「やや高い」より少し下）に分布しているだけで、取り組み割合と水道料金評価の関係はみられません。

これから、水道料金評価は、使用水量や節水の取り組みでなく、各事業所の事情によるところが大きいと考えられます。

●水道料金(使用水量別)



●水道料金(節水への取り組み別)



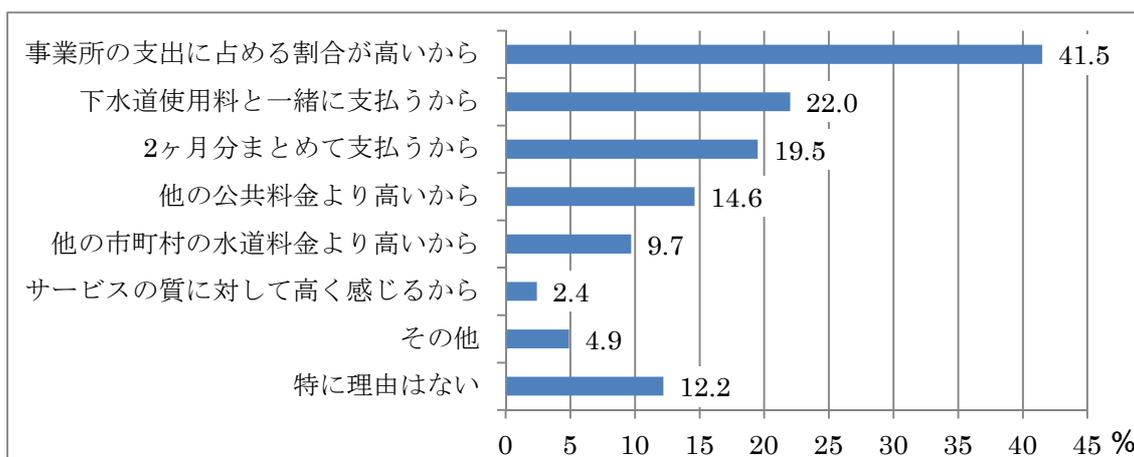
\*水道料金は「安い」=-2、「やや安い」=-1、「妥当」=0、「やや高い」=1、「高い」=2の重みを付けた加重平均値で表示し、回答数が少ない項目は加重平均を除外しています。

## 質問 7-1 水道料金が高いと感じる理由

水道料金が高いと感じる理由は、「事業所の支出に占める割合が高いから」が 41.5%で突出して多くなっています。次いで、「下水道使用料と一緒に支払うから」(22.0%)、「2ヶ月分まとめて支払うから」(19.5%)となっています。「他の公共料金」、「他の市町村」、「サービスの質」等との相对比较より、支払金額の大きさ自体が高く感じることに影響していると考えられます。

なお、「事業所の支出に占める割合が高いから」は、医療機関・福祉施設、文化・スポーツ・娯楽施設、工場(食品加工を除く)で多く(回答事業所の半数以上)あげられています。

●水道料金が高いと感じる理由(計 41)



●水道料金が高いと感じる理由(業種別)

|              | 回答事業所 | 事業所の支出に占める割合が高いから | 2ヶ月分まとめて支払うから | 下水道使用料と一緒に支払うから | 他の公共料金より高いから | 他の市町村の水道料金より高いから | サービスの質に対して高く感じるから | その他 | 特に理由はない |
|--------------|-------|-------------------|---------------|-----------------|--------------|------------------|-------------------|-----|---------|
| 官公庁・官公庁関連施設  | 1     | -                 | 1             | -               | -            | -                | -                 | -   | -       |
| 教育施設         | 1     | -                 | -             | 1               | -            | -                | -                 | -   | -       |
| 医療機関・福祉施設    | 17    | 9                 | 6             | 3               | 4            | 1                | -                 | -   | 1       |
| 卸・小売業        | 6     | 2                 | -             | -               | -            | 2                | -                 | 1   | 1       |
| 飲食業          | -     | -                 | -             | -               | -            | -                | -                 | -   | -       |
| 事務所・事業所      | 1     | -                 | -             | -               | -            | -                | -                 | -   | 1       |
| 宿泊施設         | 2     | -                 | -             | -               | 1            | -                | -                 | -   | 1       |
| 文化・スポーツ・娯楽施設 | 2     | 2                 | -             | 1               | -            | 1                | -                 | -   | -       |
| 工場(食品加工)     | 2     | 1                 | -             | 1               | 1            | -                | -                 | 1   | -       |
| 工場(食品加工を除く)  | 6     | 3                 | -             | 3               | -            | -                | -                 | -   | -       |
| その他          | 3     | -                 | 1             | -               | -            | -                | 1                 | -   | 1       |

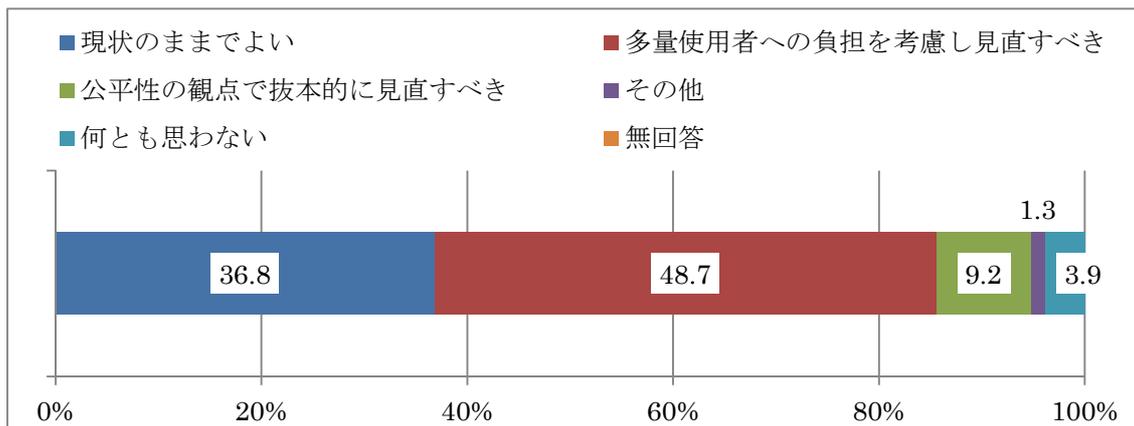
\* サンプル数が少ないため参考値とします

## 質問8 従量逡増式について

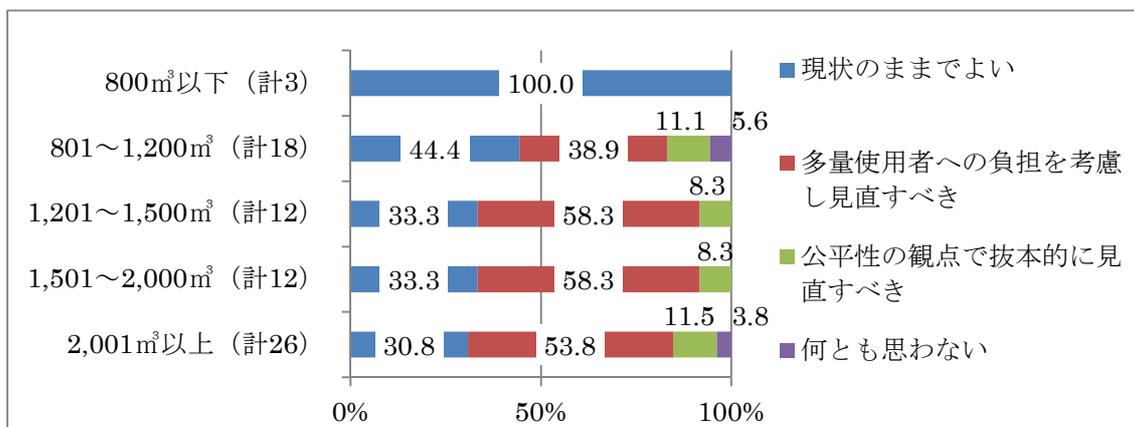
従量逡増式とは、使用した水量が多くなるほど、段階的に単位あたりの料金を高くする料金体系です。従量逡増式については、「多量使用者への負担を考慮し見直すべき」(48.7%)が約半分を占め、次いで、「現状のままでよい」(36.8%)があります。

「現状のままでよい」の比率は、使用水量が多いほど、水道料金が高いと感じるほど下がっており、反対に他の料金体系の改定を望む比率が高まっています。

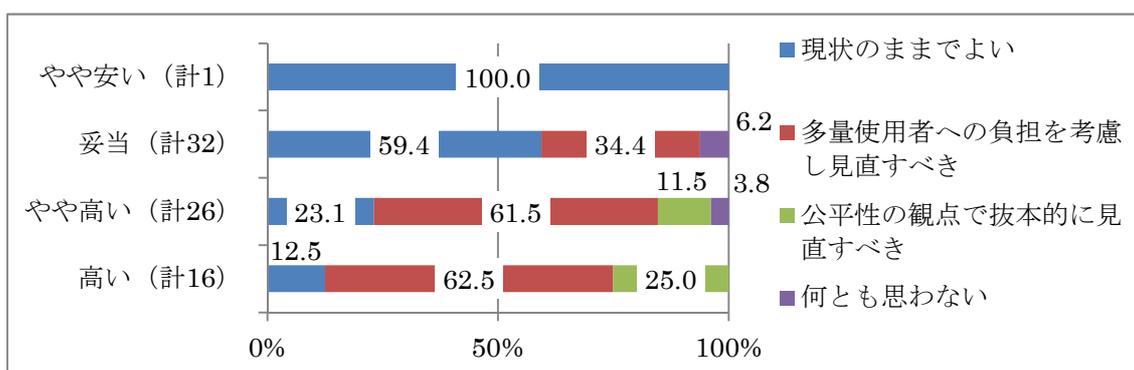
●従量逡増式について(計76)



●従量逡増式について(使用水量別)



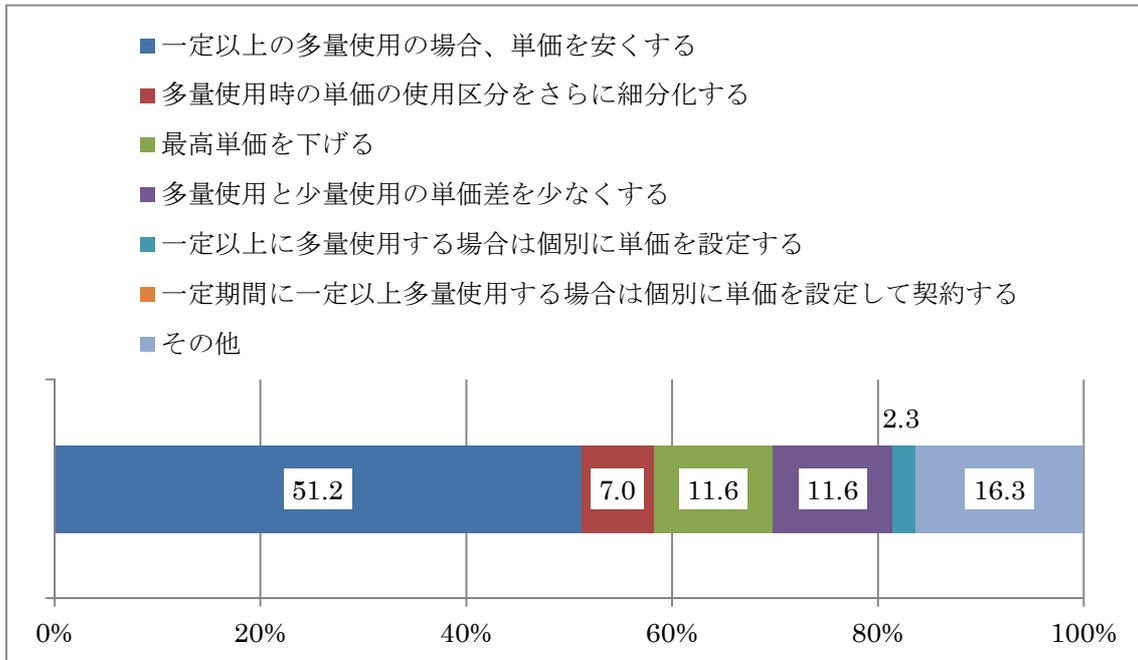
●従量逡増式について(水道料金別)



### 質問 8-1 料金体系の見直し

料金体系の見直しは、「一定以上の多量使用の場合、単価を安くする」が 51.2%と過半を占めています。次いで、「最高単価を下げる」・「多量使用と少量使用の単価差を少なくする」(各 11.6%)があげられており、単価体系の見直しが望まれています。

●料金体系の見直し(計 43)



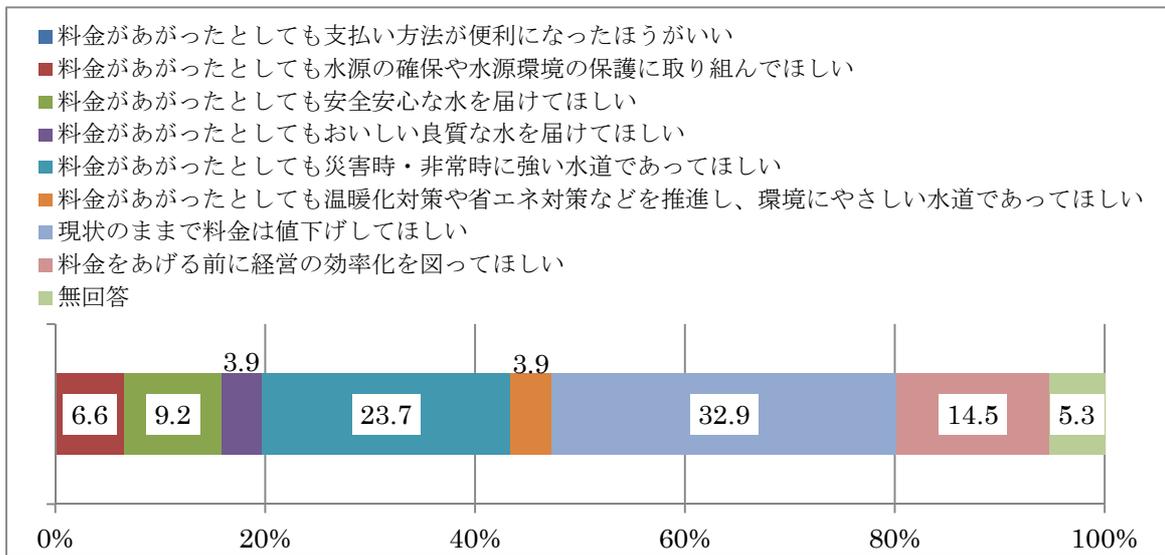
## 質問9 料金からみた水道事業の考え方

料金からみた水道事業の考え方は、「現状のままで料金は値下げしてほしい」(32.9%)が最も多く、次いで「料金が上がったとしても災害時・非常時に強い水道であってほしい」(23.7%)、「料金をあげる前に経営の効率化を図ってほしい」(14.5%)があります。

「料金が上がったとしても」を含む回答は全部で 47.3%、「現状のままで料金は値下げしてほしい」+「料金をあげる前に経営の効率化を図ってほしい」は 47.4%、と両者は拮抗しています。

また、「料金は上がったとしても」を含む回答では「災害時・非常時の強い水道であってほしい」が最も多いことが注目されますが、これは官公庁・官公庁関連施設(3/5 件)、教育施設(2/5 件)、医療機関・福祉施設(8/27 件)、その他(2/5 件)で比率が高くなっています。

●料金からみた水道事業の考え方(計 76)



●料金からみた水道事業の考え方(業種別、主要3項目)

|              | 回答事業所 | 現状のままで料金は下げてほしい | 料金が上がったとしても災害時・非常に強い水道であってほしい | 料金をあげる前に経営の効率化を図ってほしい |
|--------------|-------|-----------------|-------------------------------|-----------------------|
| 官公庁・官公庁関連施設  | 5     | 1               | 3                             | 1                     |
| 教育施設         | 5     | 1               | 2                             | -                     |
| 医療機関・福祉施設    | 27    | 12              | 8                             | 2                     |
| 卸・小売業        | 9     | 5               | 1                             | 1                     |
| 飲食業          | 0     | -               | -                             | -                     |
| 事務所・事業所      | 4     | 2               | 1                             | -                     |
| 宿泊施設         | 2     | -               | -                             | 1                     |
| 文化・スポーツ・娯楽施設 | 3     | -               | -                             | 2                     |
| 工場(食品加工)     | 2     | -               | -                             | 1                     |
| 工場(食品加工を除く)  | 10    | 3               | 1                             | 2                     |
| その他          | 5     | 1               | 2                             | 1                     |

\* サンプル数が少ないため参考値とします

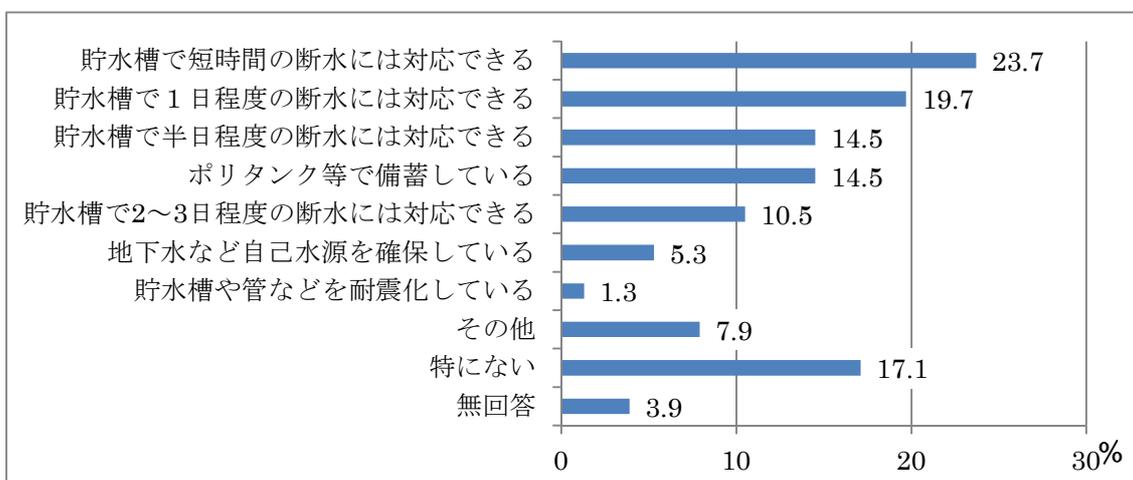
## 5 災害時・非常時について

### 質問10 災害時・断水時における対策

災害時・断水時における対策として、何らかの貯水をしている事業所は約80%（「特にない」と「無回答」を除く比率）にのびります。複数の対策を組み合わせ実施している事業所もありますが、数日以上貯水（「貯水槽で2～3日程度の断水には対応している」+「地下水などの自己水源を確保している」）は15%強、「貯水槽や管などを耐震化している」は1.3%と少なくなります。

業種別で数日以上の断水に対応できると回答したのは、医療機関・福祉施設が多くなっています。

●災害時・断水時における対策(計76)



●災害時・断水時における対策(業種別、項目名は短縮しています)

|              | 回答<br>事業所 | 貯水槽 |    |    |      | ポリタン<br>ク等 | 自己<br>水源 | 耐震化 | その他 |
|--------------|-----------|-----|----|----|------|------------|----------|-----|-----|
|              |           | 短時間 | 半日 | 1日 | 2～3日 |            |          |     |     |
| 官公庁・官公庁関連施設  | 5         | 2   | -  | -  | 1    | 1          | -        | -   | -   |
| 教育施設         | 5         | 2   | 1  | -  | 1    | 1          | -        | 1   | -   |
| 医療機関・福祉施設    | 27        | 4   | 4  | 4  | 5    | 6          | 2        | -   | 5   |
| 卸・小売業        | 9         | 3   | 1  | 2  | -    | -          | -        | -   | -   |
| 飲食業          | -         | -   | -  | -  | -    | -          | -        | -   | -   |
| 事務所・事業所      | 4         | -   | 2  | 1  | -    | -          | -        | -   | -   |
| 宿泊施設         | 2         | 1   | -  | 1  | -    | -          | -        | -   | -   |
| 文化・スポーツ・娯楽施設 | 3         | -   | -  | 3  | -    | -          | 1        | -   | -   |
| 工場(食品加工)     | 3         | 3   | -  | -  | -    | -          | 1        | -   | 1   |
| 工場(食品加工を除く)  | 10        | 2   | 1  | 2  | 1    | 3          | -        | -   | -   |
| その他          | 5         | 1   | 2  | 2  | -    | -          | -        | -   | -   |

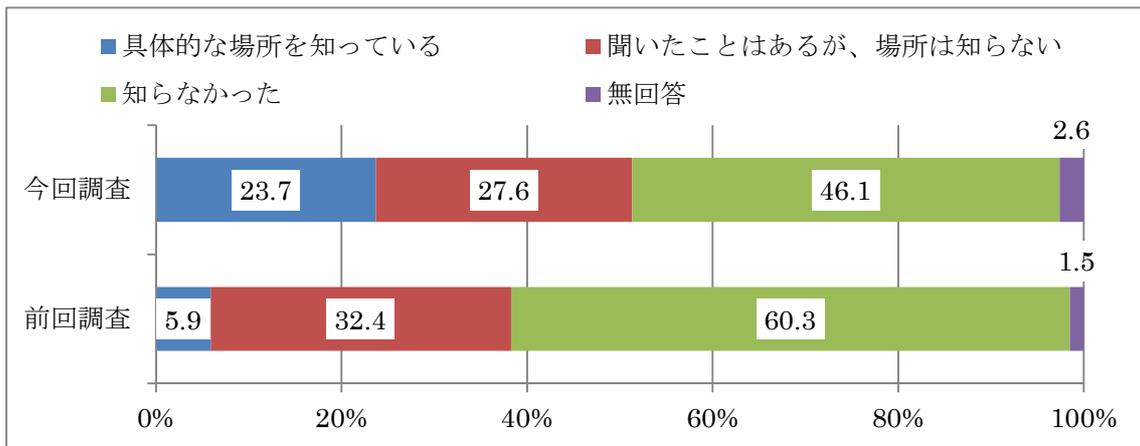
\* サンプル数が少ないため参考値とします

## 質問 1 1 身近な指定給水所の場所

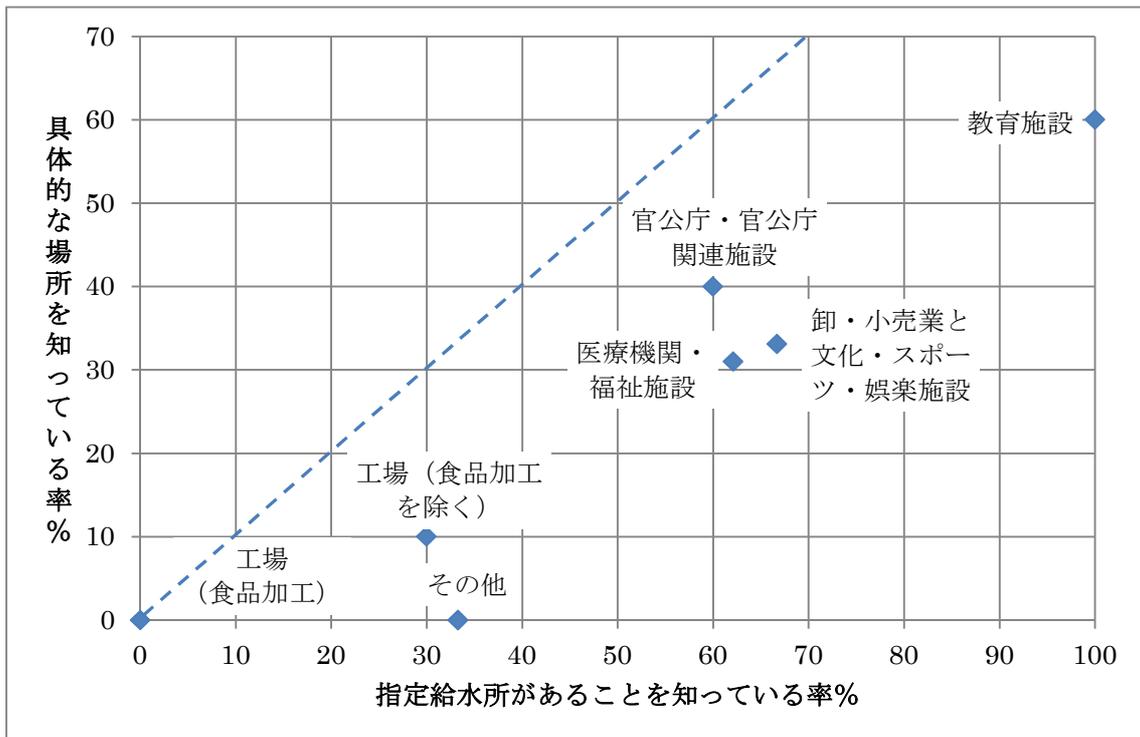
身近な指定給水所の場所は、「知らなかった」が46.1%で最も多く、次いで、「聞いたことはあるが、場所は知らない」(27.6%)、「具体的な場所を知っている」(23.7%)となっており、場所を知っている事業所は1/4弱、と少ない状況です。なお、前回調査と比べると、「具体的な場所を知っている」が増え、「知らなかった」が減少しており、指定給水所の認知度が高まっています。

業種別にみると、知っている事業所の率が増えると具体的な場所を知っている事業所の率も増える傾向がみられ、教育施設、官公庁・官公庁関連施設は認知度が高くなっています。

●身近な指定給水所の場所(計76)



●身近な指定給水所の場所(業種別、知っている比率)



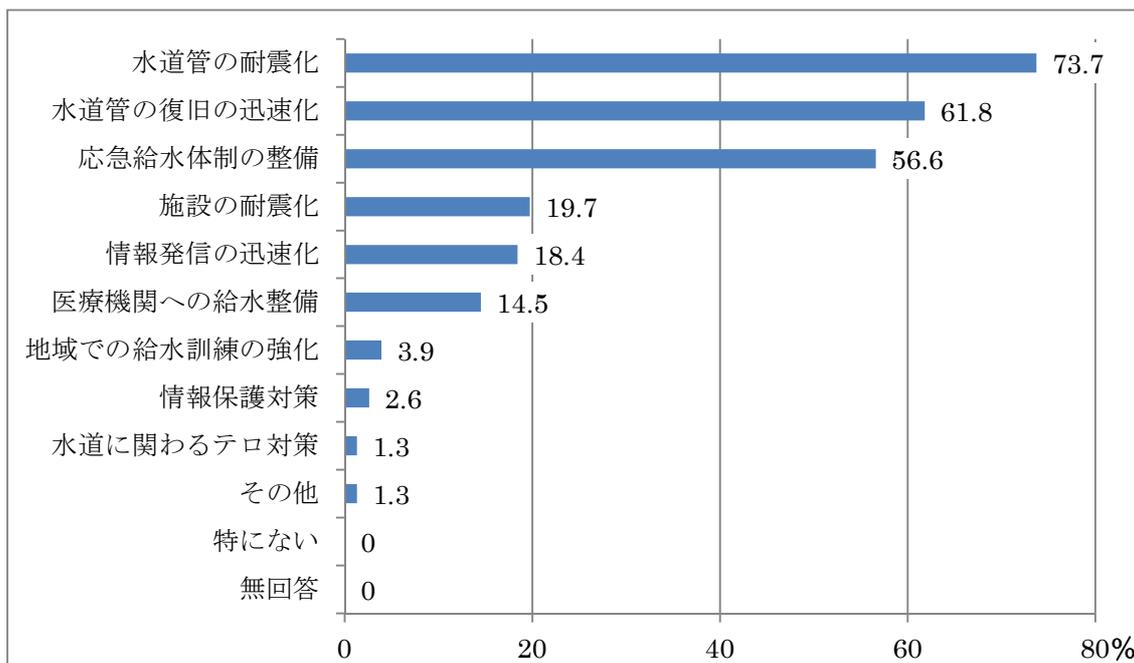
\*回答数が少ない「宿泊施設」を除いています。

## 質問 1 2 災害時・非常時の対策として水道局に望むこと

災害時・非常時の対策として水道局に望むことでは、「水道管の耐震化」(73.7%)、「水道管の復旧の迅速化」(61.8%)、「応急給水体制の整備」(56.6%)が過半を超えており、多くの事業所が望んでいます。

また、「水道管の耐震化」は、事務所・事業所とその他を除く全業種で、回答事業所の半数以上があげています。

●災害時・非常時の対策として水道局に望むこと(計 76)



●災害時・非常時の対策として水道局に望むこと(業種別、主要3項目)

|              | 回答事業所 | 水道管の耐震化 | 水道管の復旧の迅速化 | 応急給水体制の整備 |
|--------------|-------|---------|------------|-----------|
| 官公庁・官公庁関連施設  | 5     | 4       | 5          | 4         |
| 教育施設         | 5     | 4       | 2          | 2         |
| 医療機関・福祉施設    | 29    | 19      | 16         | 18        |
| 卸・小売業        | 9     | 9       | 8          | 2         |
| 飲食業          | -     | -       | -          | -         |
| 事務所・事業所      | 4     | 1       | 2          | 3         |
| 宿泊施設         | 2     | 1       | 2          | 2         |
| 文化・スポーツ・娯楽施設 | 3     | 3       | 3          | 3         |
| 工場(食品加工)     | 3     | 2       | 3          | 2         |
| 工場(食品加工を除く)  | 10    | 7       | 5          | 3         |
| その他          | 16    | 6       | 1          | 4         |

\* サンプル数が少ないため参考値とします

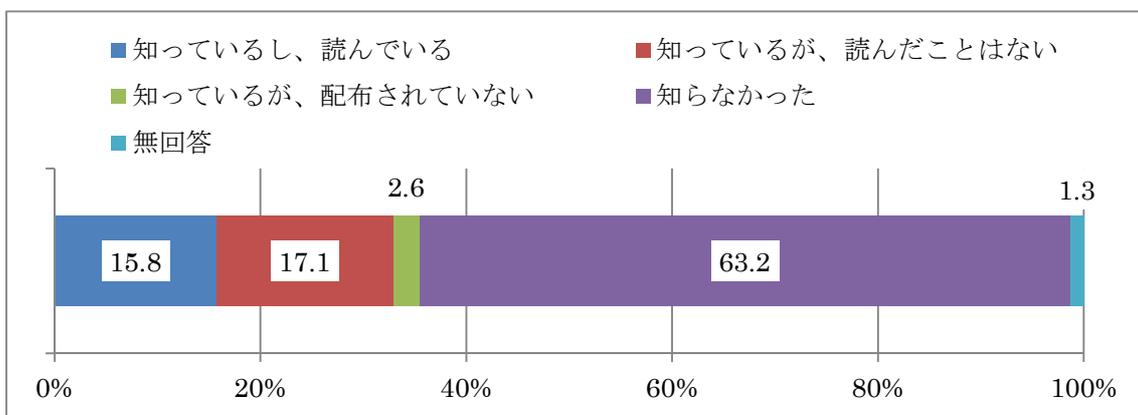
## 6 広報・啓発活動について

### 質問13 広報誌「みずぐるま」

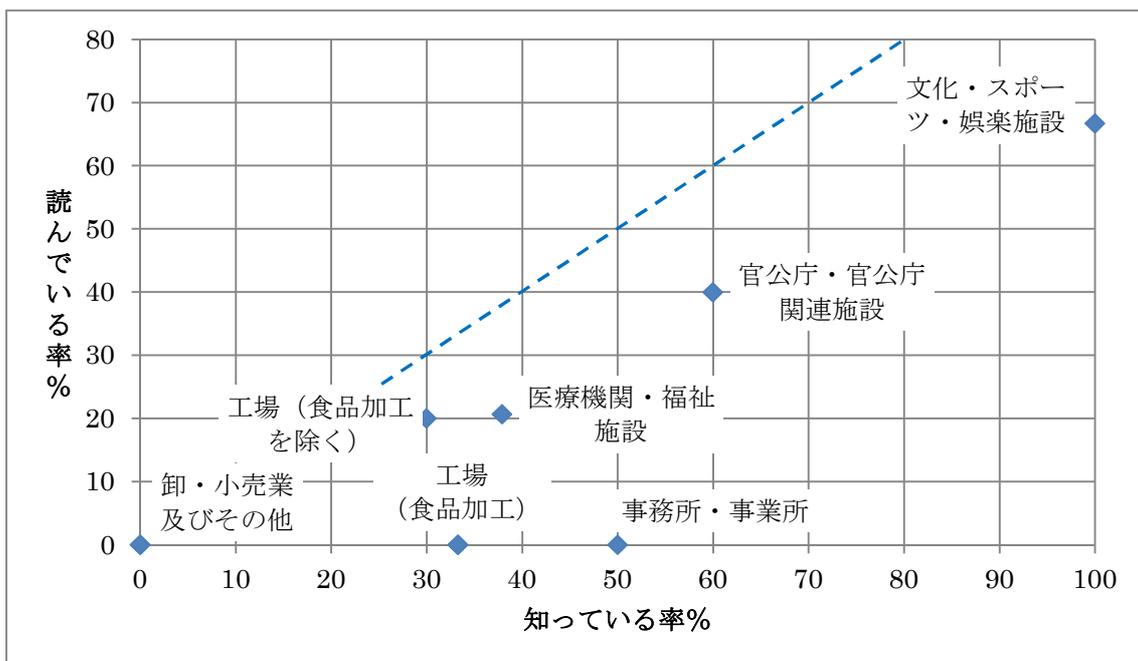
広報誌「みずぐるま」は、「知らなかった」が63.2%で最も多く、「知っているが、読んだことはない」+「知っているが、配布されていない」が計19.7%となっています。反対に「知っているし、読んでいます」は15.8%と少数になっています。

業種別にみると、知っている事業所が多いほど、読んでいる事業所が多くなる傾向がみられ、文化・スポーツ・娯楽施設、官公庁・官公庁関連施設で読んでいる割合が高くなっています。

● 広報誌「みずぐるま」(計76)



● 広報誌「みずぐるま」(業種別)



\* 回答数が少ない「宿泊施設」は除いています。

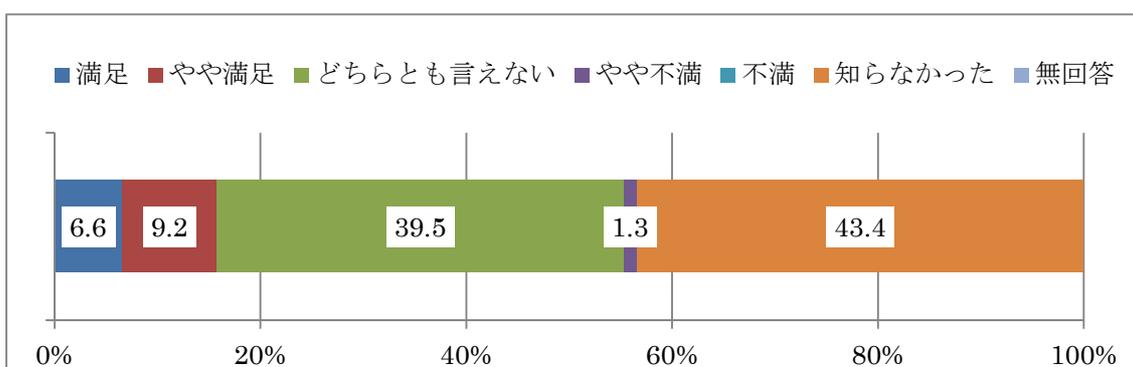
## 質問 1 4 ホームページでの情報発信

ホームページでの情報発信は、「知らなかった」(43.4%)が最も多く、次いで、「どちらとも言えない」(39.5%)となっています。満足側 15.8%（「満足」+「やや満足」）、不満側 1.3%（「やや不満」+「不満」）であり、「満足」を含む回答が多くなっています。（「やや不満」:1事業所、「不満」:0事業所）

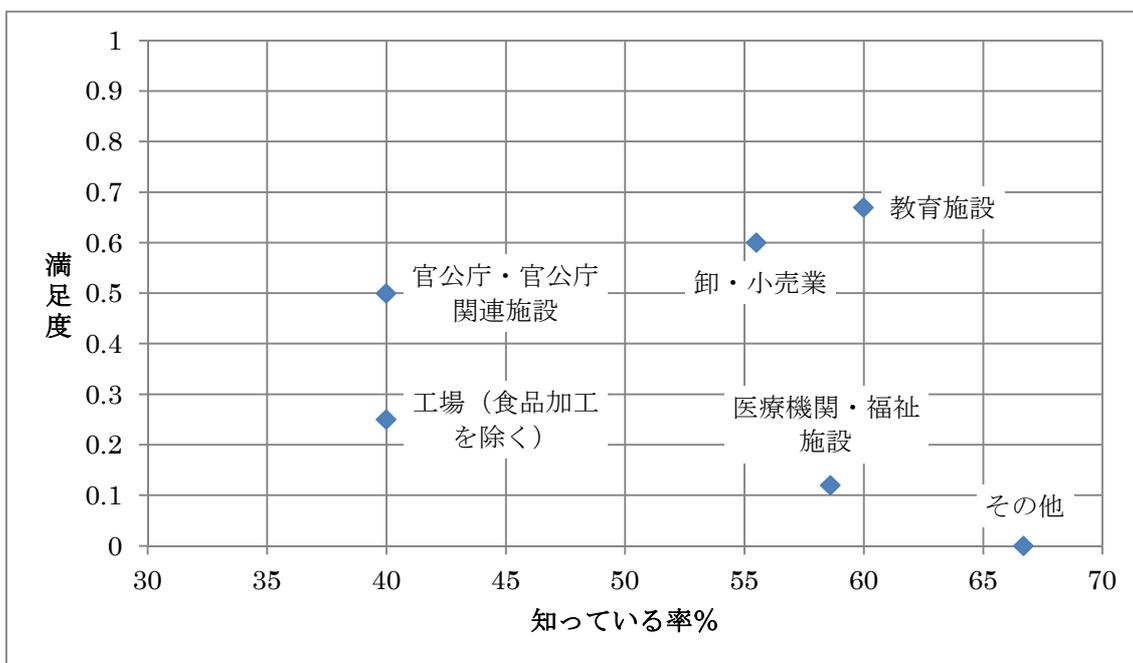
業種別では、以下の3グループに分かれています。

- ①知っている事業所が少ない(官公庁・官公庁関連施設、工場(食品加工を除く))
- ②知っている事業所が多く・満足度が高い(教育施設、卸・小売業)
- ③知っている事業所が多いが満足度は低い(医療機関・福祉施設、その他)

●ホームページでの情報発信(計 76)



●ホームページでの情報発信(業種別)



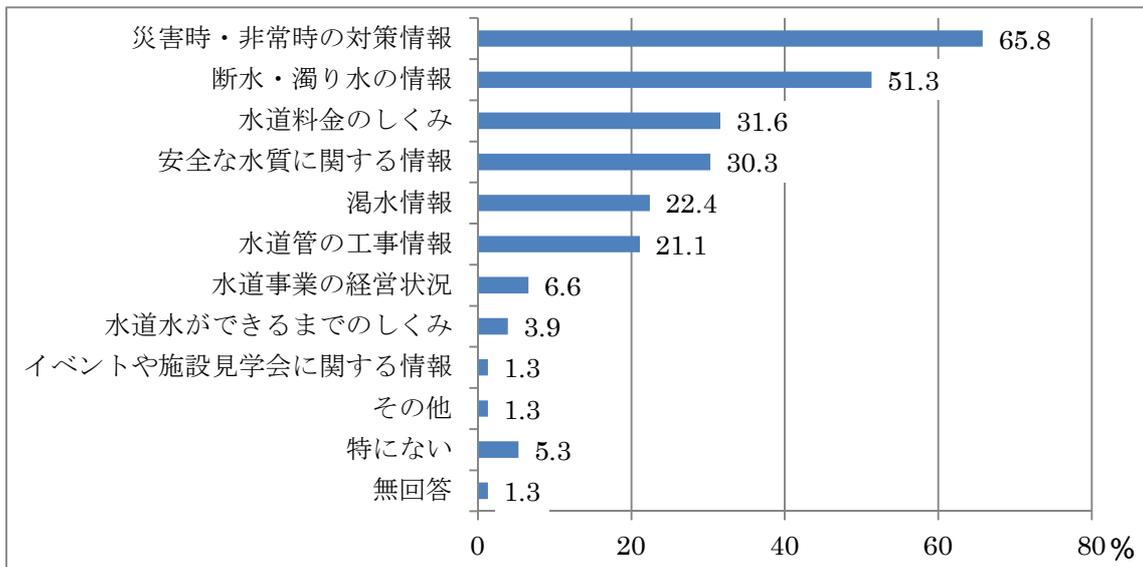
\*回答数が少ない「事務所・事業所」、「宿泊施設」、「文化・スポーツ・娯楽施設」、「工場(食品加工)」は除いています。

## 質問15 知りたい水道情報

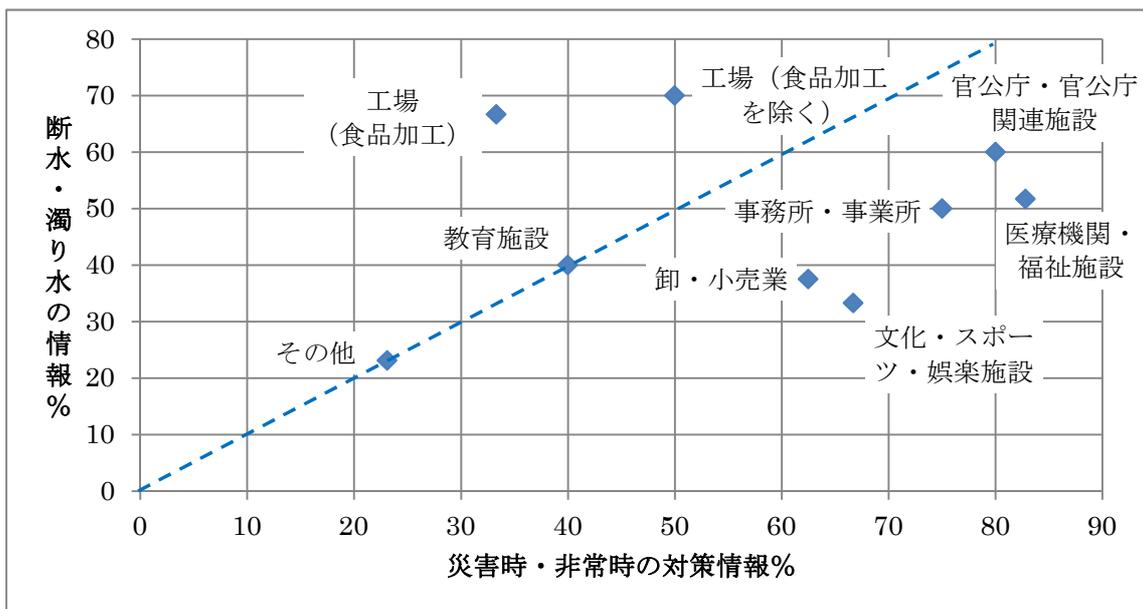
知りたい水道情報は、「災害時・非常時の対策情報」(65.8%)と「断水・濁り水の情報」(51.3%)が過半を超えて多くなっています。次いで、「水道料金のしくみ」(31.6%)、「安全な水質に関する情報」(30.3%)、「渇水情報」(22.4%)、「水道管の工事情報」(21.1%)があります。

業種別にみると、「災害時・非常時の対策情報」と「断水・濁り水の情報」の比率が連動する傾向がみられ、官公庁・官公庁関連施設、医療機関・福祉施設、事務所・事業所が高くなっています。しかし、2種の工場は「断水・濁り水の情報」が第1位、教育施設は「水道料金のしくみ」と「安全な水質に関する情報」が第1位と第2位になっており、異なる傾向の業種もあります。

●知りたい水道情報(計76)



●知りたい水道情報(業種別、上位2項目)



\*回答数が少ない「宿泊施設」は除いています。

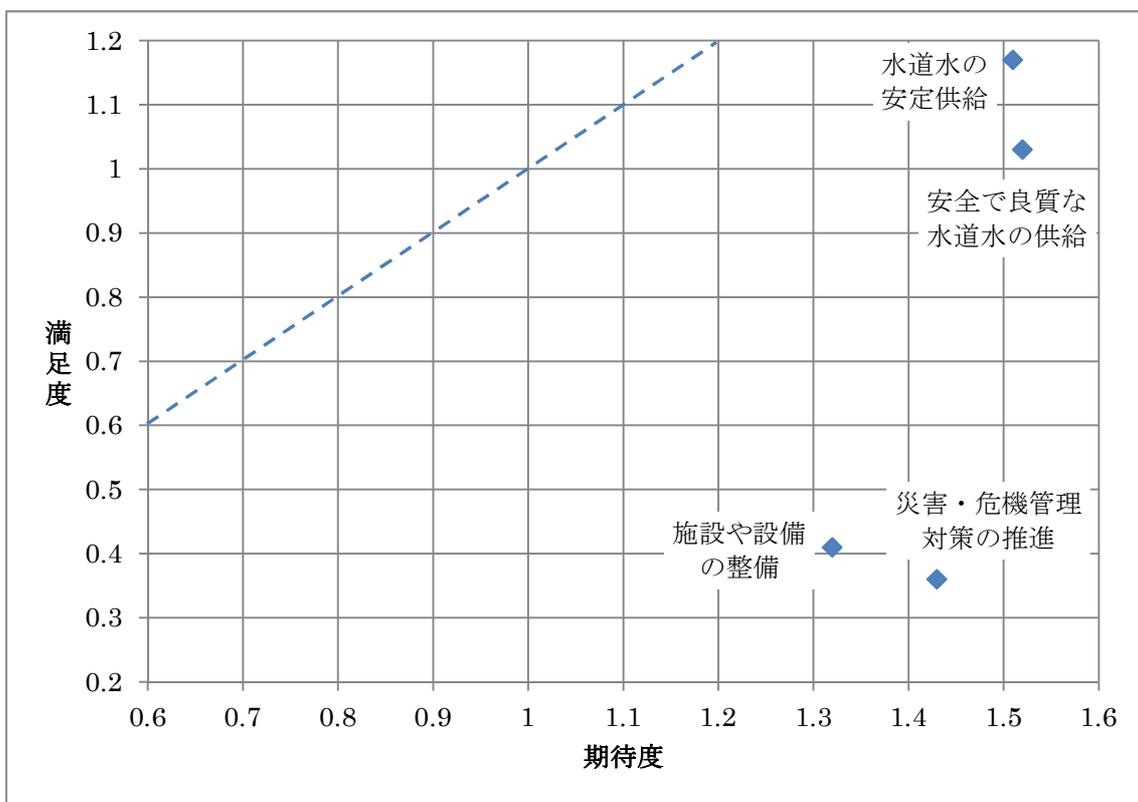
## 7 水道事業について

### 質問16 水の安定した供給のための取り組みについての満足度と期待度

水の安定した供給のための取り組みについては、全ての項目で、満足度が0点以上(「どちらとも言えない」より「やや満足」)にあり、「水道水の安定供給」と「安全で良質な水道水の供給」は1点以上(「やや満足」以上)ですが、期待度はそれより高く、満足度の向上が求められています。

中でも「災害・危機管理対策の推進」と「施設や設備の整備」は、期待度と満足度で1点近い差があり、優先的な改善が必要と思われます。

●水の安定した供給のための取り組みについて(ポートフォリオ分析)



●水の安定した供給のための取り組みについて(満足度と期待度)

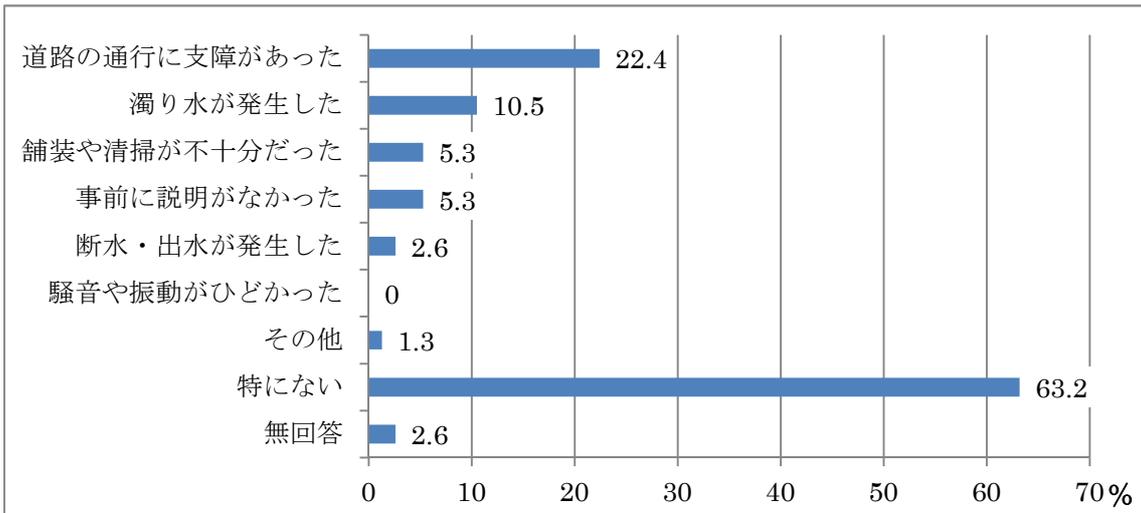
| 項目           | 満足度   | 期待度   | 期待度-満足度 |
|--------------|-------|-------|---------|
| 安全で良質な水道水の供給 | +1.03 | +1.52 | +0.49   |
| 水道水の安定供給     | +1.17 | +1.51 | +0.34   |
| 施設や設備の整備     | +0.41 | +1.32 | +0.91   |
| 災害・危機管理対策の推進 | +0.36 | +1.43 | +1.07   |

## 質問17 水道局の工事などで不満に感じたこと

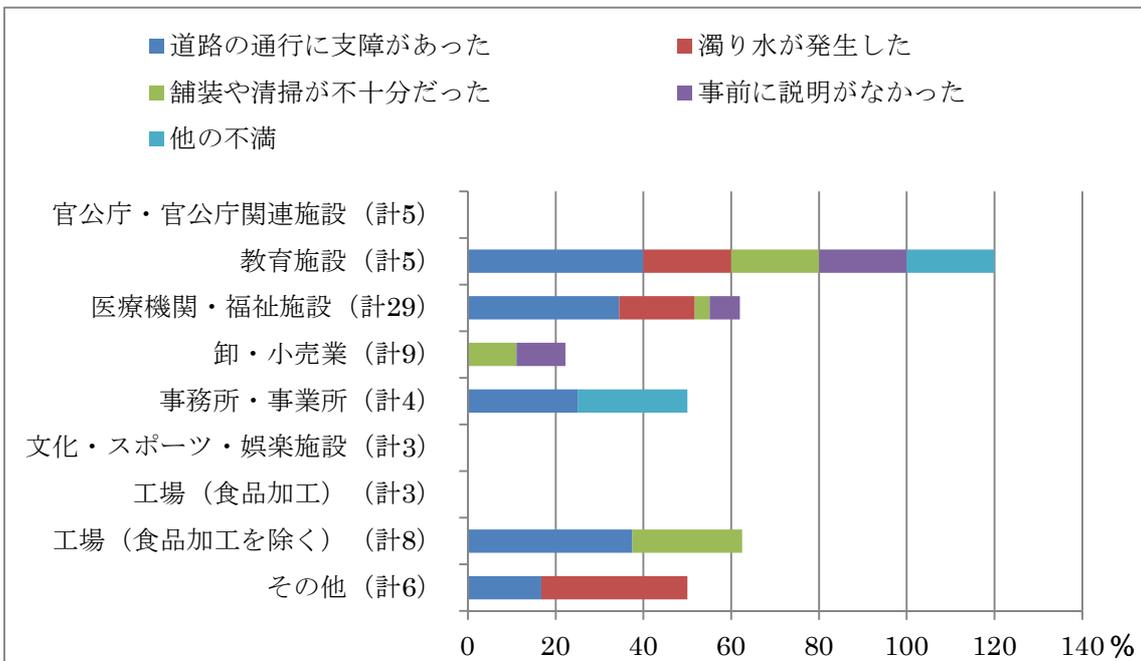
水道局の工事などで不満に感じたことは、「特にない」が63.2%で最も多くなっています。無回答を除く残り34.2%が不満事項で、その2/3近くが「道路の通行に支障があった」（不満事項の65.5%）で占められ、「濁り水が発生した」（同30.7%）が続いています。

業種別にみると、教育施設で多くの不満があげられており、次いで、医療機関・福祉施設、工場（食品加工を除く）で不満が多くなっています。一方で、不満がでていない業種もあります。

●水道局の工事などで不満に感じたこと(計76)



●水道局の工事などで不満に感じたこと(業種別、不満事項の比率積み上げグラフ)



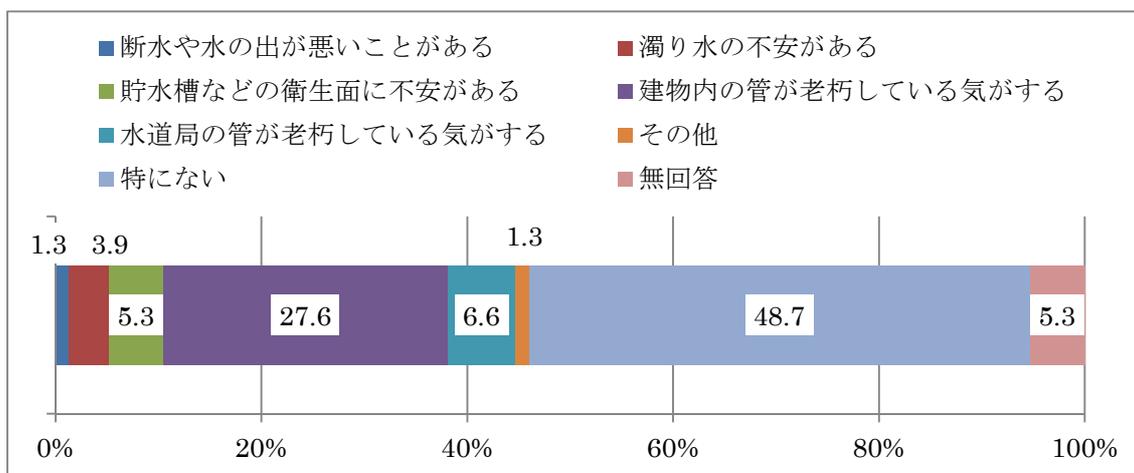
\*回答数が少ない「宿泊施設」は除いています。

## 質問 18 配管に関して不安なこと

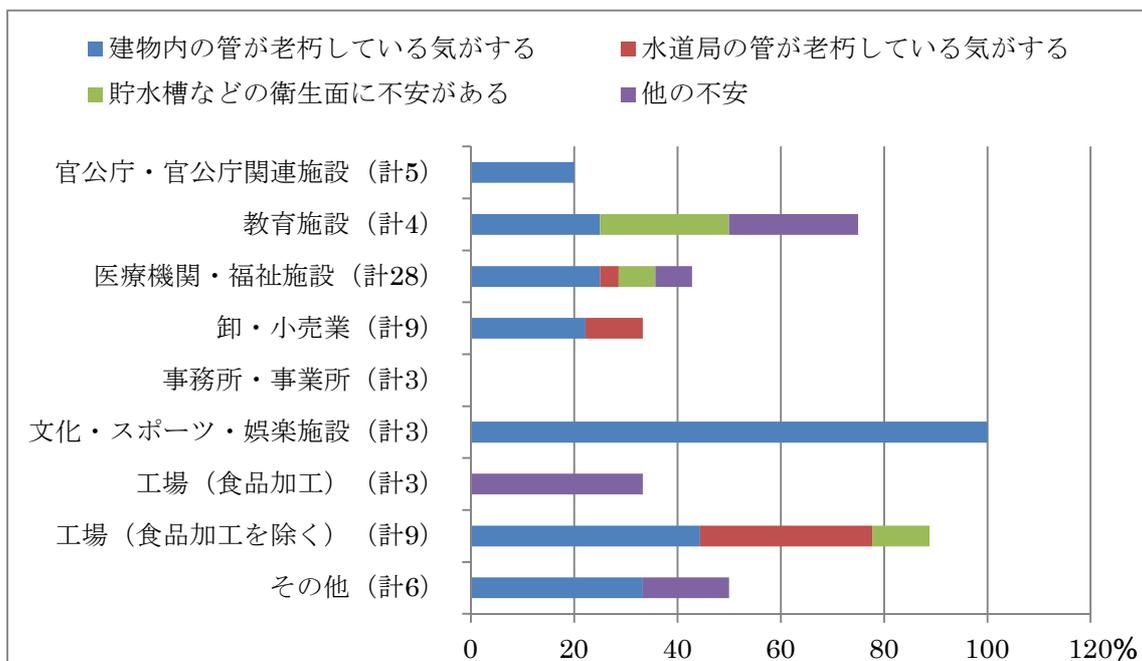
配管に関して不安なことは、「特にない」が 48.7%で最も多くなっています。無回答を除く残り 46.0%が不安事項で、「建物内の管が老朽している気がする」(不安事項の 60.0%)、「水道局の管が老朽している気がする」(同 14.3%)、「貯水槽などの衛生面に不安がある」(同 11.5%)が続いています。

「建物内の管が老朽している気がする」は多くの業種で第1にあげられており、文化・スポーツ・娯楽施設では全ての事業があげるなど、大きな不安要因となっています。また、文化・スポーツ・娯楽施設、工場(食品加工を除く)、教育施設は多くの不安事項がでています。

●配管に関して不安なこと(計 76)



●配管に関して不安なこと(業種別、不安事項の比率積み上げグラフ)



\*回答数が少ない「宿泊施設」は除いています。

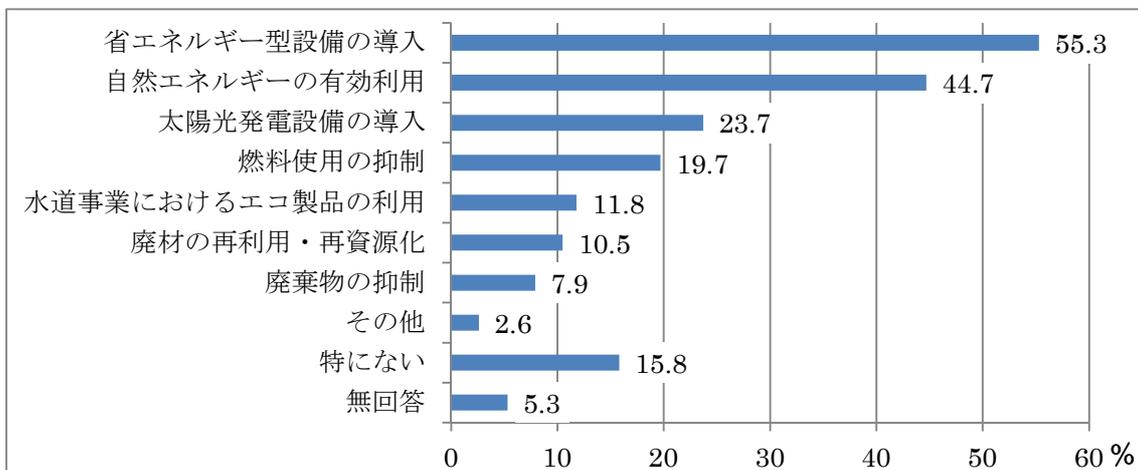
## 8 環境との調和について

### 質問19 水道局における環境への取り組みについて期待すること

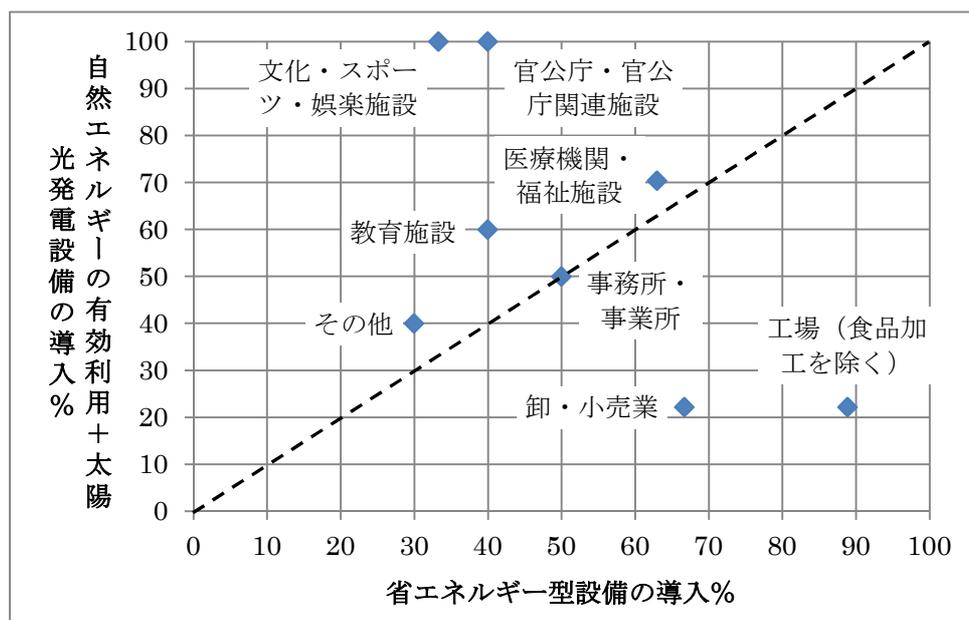
水道局における環境への取り組みについて期待することは、「省エネルギー型設備の導入」(55.3%)と「自然エネルギーの有効利用」(44.7%)が多くなっています。次いで、「太陽光発電設備の導入」(23.7%)、「燃料使用の抑制」(19.7%)があり、エネルギー関係が多くなっています。

「省エネルギー型設備の導入」と、「自然エネルギーの有効利用」+「太陽光発電設備の導入」を業種別にみると、どちらか一方を重視する業種がほとんどですが、事務所・事業所のように両者を同程度重視する業種もあります。

●水道局における環境への取り組みについて期待すること(計76)



●水道局における環境への取り組みについて期待すること(業種別、上位3項目)



\*回答が少ない「宿泊施設」と「工場(食品加工)」は除いています。

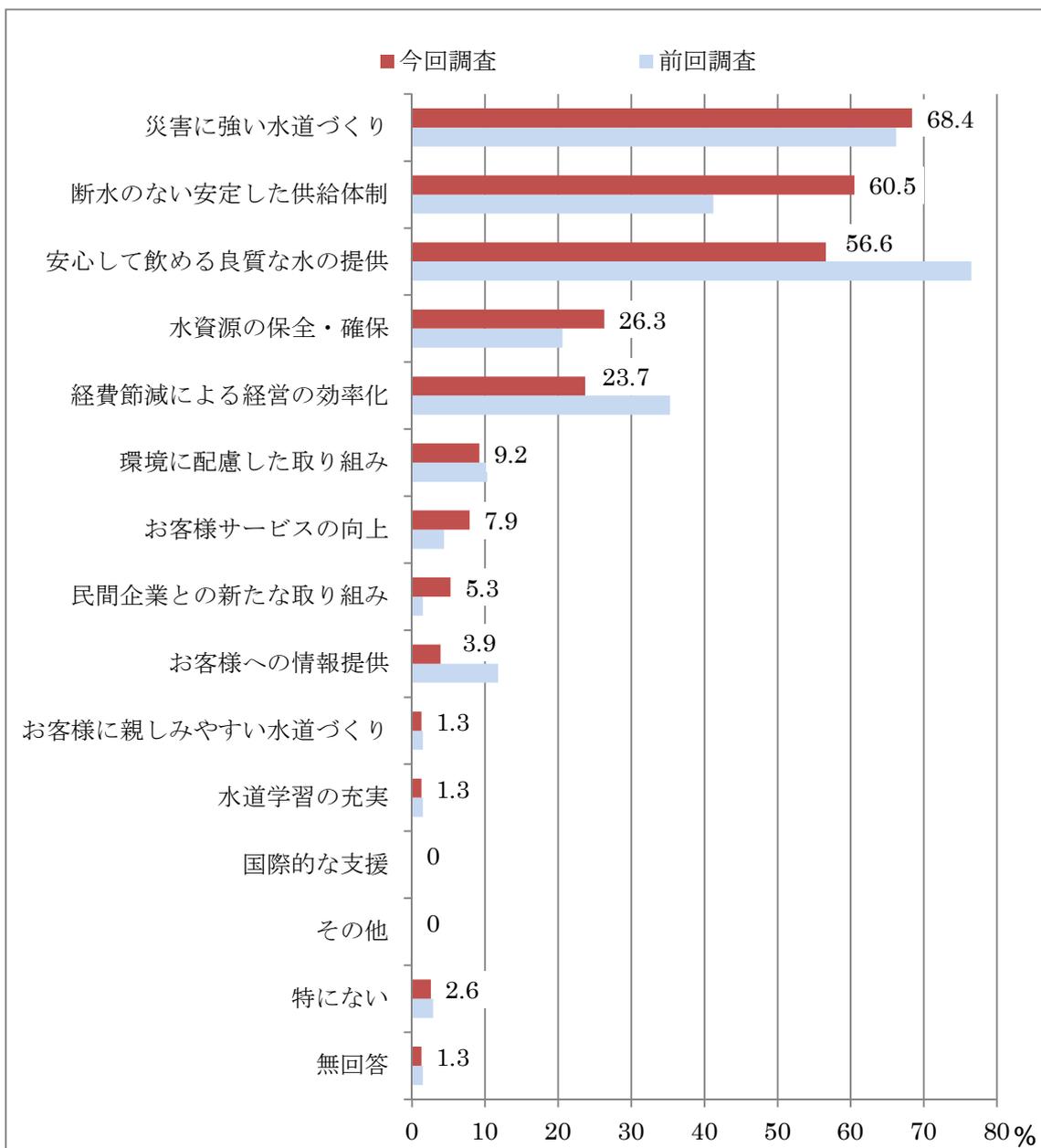
## 9 今後の課題について

### 質問20 今後の水道局の取り組みにおいて重要視すること

今後の水道局の取り組みにおいて重要視することは、「災害に強い水道づくり」(68.4%)、「断水のない安定した供給体制」(60.5%)、「安心して飲める良質な水の提供」(56.6%)が過半を超えて多くなっています。

前回調査では「安心して飲める良質な水の提供」が最も重要視されていましたが、今回調査では「災害時・非常時を含めた安定供給」の志向が強くなった、と言えます。

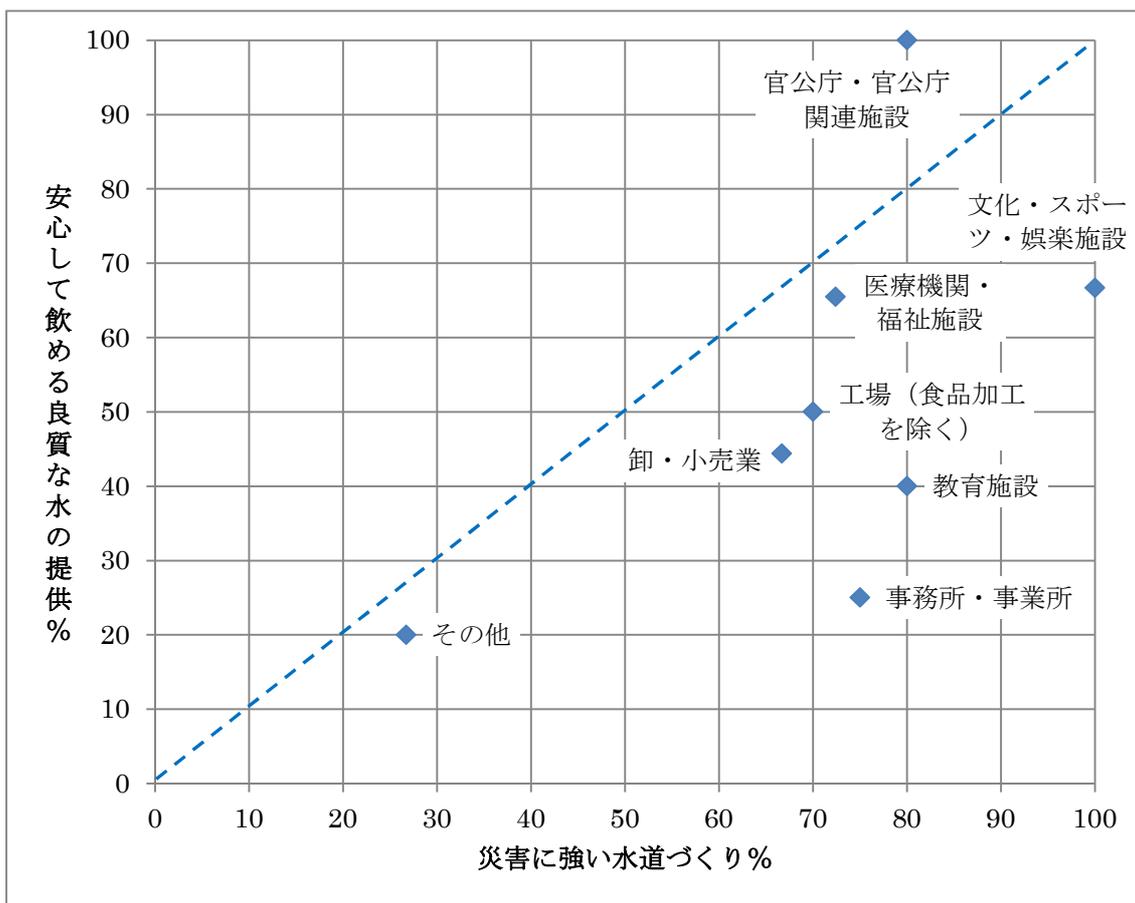
●今後の水道局の取り組みにおいて重要視すること(計 76)



業種別に第1位「災害に強い水道づくり」と第3位「安心して飲める良質な水の提供」の関係をみると、以下のように大別できます。

- 「災害に強い水道づくり」と「安心して飲める良質な水の提供」がともに高比率の業種
  - ⇒官公庁・官公庁関連施設、医療機関・福祉施設、文化・スポーツ・娯楽施設
  - ⇒多数の人々が入り出りする業種があがっており、来訪者に向けた「安心して飲める良質な水の提供」を重要視している、と考えられます。
- 「災害に強い水道づくり」が高比率の業種
  - ⇒教育施設、卸小売業、事務所・事業所、工場（食品加工を除く）
  - ⇒事業所の業務継続を重要視している業種、と考えられます。
- 「災害に強い水道づくり」と「安心して飲める良質な水の提供」がともに低比率の業種
  - ⇒その他
  - ⇒この業種は、各項目とも回答率が低くなっています。

●今後の水道局の取り組みにおいて重要視すること(業種別、全体の第1位・第3位の項目)



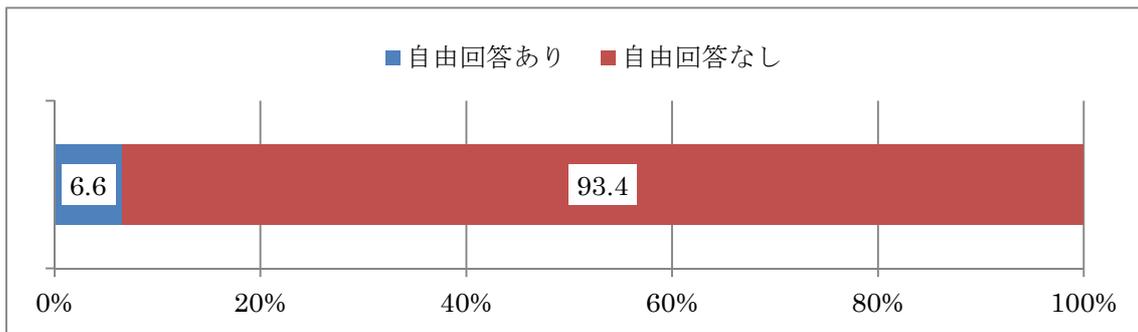
\*回答が少ない「宿泊施設」と「工場(食品加工)」は除いています。

## 10 自由回答

### 質問21 水道局へのご意見・ご要望

水道局へのご意見・ご要望として、5件の自由回答がありました。

●水道局へのご意見・ご要望—自由回答(計76)



●水道局へのご意見・ご要望—自由回答の分野別件数

| ご意見・ご要望             | 件数 |
|---------------------|----|
| アンケートに関して           | 1  |
| 安全・安心な水の供給について      | 1  |
| 災害時・非常時の水の供給・復旧について | 1  |
| 水道料金について            | 1  |
| その他のご意見・ご要望         | 1  |